

体育協会創立60周年
財団法人設立30周年 記念誌

進化



2017

一般財団法人 士別市体育協会



一般財団法人士別市体育協会シンボルマーク

《デザインの意図》

形は士別市の「士」を図案化したもので、青色は清い精神を持ったスポーツマンが輪になって集結し、協会の和と赤の情熱をもって発展を表現している姿である。

健康・スポーツ都市宣言



わたくしたち士別市民は
一人ひとりが健康に心をつかい
生涯を通してスポーツに親しみ
健全な心とからだをきたえ
人と大地が躍動する
すこやかな「まち」を築くため
ここに「健康・スポーツ都市」
を宣言します

平成17年10月14日

士 別 市

体育協会創立60周年・財団法人設立30周年

— 記念式典・祝賀会 —



▲式辞 神田英一会長

▼特別功労賞 健康・体力づくりサポート事業アドバイザー 須田 力様へ授与



▼謝辞 須田 力様



▼祝辞 士別市長 牧野 勇司様



▼祝辞 北海道体育協会会長 堀 達也様



▼祝杯 士別市議会議長 丹 正臣様（代理:士別市議会運営委員会 委員長 渡辺 英次様）



▼60周年記念スライドムービー



▼会場のようす



▼万歳三唱 北海道議会議員 北口 雄幸様



目 次

1	創 立 6 0 周 年 ・ 財 団 法 人 設 立 3 0 周 年 に あ た っ て	1
2	祝 辞	2
3	士別市体育協会60年のあゆみ	8
4	写真で振り返る士体協の10年	14
5	健康・体力づくりに関する研究	24
6	社会体育施設管理業務受託事業	27
7	士別市スポーツ表彰受賞者名簿	32
8	全国・国際大会出場選手紹介	35
9	資 料 編	
	（一財）士別市体育協会定款	45
	組織図	53
	加盟団体	54
	歴代役員	55
	スポーツ少年団本部役員	56
	総合型地域スポーツクラブ運営委員会役員	56
10	編 集 後 記	57



創立60周年・財団法人設立30周年にあたって

一般財団法人士別市体育協会

会 長 神 田 英 一

士別市体育協会創立60周年、並びに財団法人設立30周年の記念すべき年を皆さんとともに迎えることができましたことは、喜びに耐えません。

この度、記念事業として60年の歴史と伝統を振り返り、更なる飛躍・発展を期するため記念誌「進化」を発刊いたしました。

当協会は昭和32年に市内のスポーツ団体を総括する組織として設立されました。以来、士別市におけるスポーツの普及振興に努め、昭和62年には財団法人として事業を展開し、その後公益法人改革三法の施行により平成22年4月に一般財団法人に移行したところであります。

これまで市民ニーズに対応するサービスの向上に努め、スポーツによる健康体力づくりや競技力向上及びスポーツ指導者の育成などに力を入れ、新たな創造と持続的発展を目指した活動を推進して参りました。

この60年の長きに亘る歩みは、歴代会長を始め多くの先輩諸兄の情熱と士別市をはじめとする関係機関並びに関係各位の皆様方のご指導そして市民の皆様方のご協力の賜物であります。心から感謝を申し上げます。

当協会は現在25のスポーツ団体、三千余名の会員を擁する組織となっております。各加盟団体においては多くの市民の参加の中、熱心な指導と適切な組織運営において、優秀選手の輩出や生涯スポーツの推進に寄与しながら着実な進展を遂げております。

この間、事務局体制の強化と合わせ、市の委託事業としての総合体育館を中心とする市内スポーツ施設の管理業務や、各種イベントの運営業務の拡大などにより、協会運営も順調に推移して参りました。これもひとえに、関係の皆様方のご指導とご支援があつてのことと厚くお礼を申し上げる次第であります。

さて、今日のスポーツ活動を取り巻く環境も大変難しい時代の中にはありますが、スポーツは時代を超えて人々に感動を与えます。それだけに、スポーツのある生活は元気な街づくりの大きな原動力になるものと確信をいたすものであります。

今後も士別市が掲げております「健康・スポーツ都市宣言」にふさわしい元気な街づくりに貢献できますよう、より一層の努力を重ねこの創立60周年並びに財団法人設立30周年を当協会にとって次なる飛躍にすべく、決意を新たに邁進していく所存であります。

今後とも関係の皆様のご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、ご挨拶いたします。



祝 辞

士 別 市 長

牧 野 勇 司

このたび、財団法人士別市体育協会が記念すべき創立60周年並びに財団法人設立30周年を迎えられますことは誠に喜ばしく、心からお祝いを申し上げます。

貴協会は昭和32年に、それまで中央、上士別、多寄、温根別の各地区で体育協会がスポーツの振興を推進していたものを、事業の合理的な運用や施設拡充の推進のため、8協会2連盟によって創立されました。

爾来、各種大会や講習会を開催し、加盟団体の育成や指導者の養成、さらには市民スポーツの普及、振興を図るとともに、市民の健康増進や体力向上にも力を尽くされてこられました。

また、組織や事業の見直し、スポーツ少年団の発足など、絶えず組織の強化、発展に努められ、昭和62年には、さらなる体制の強化、充実を図るために財団法人を設立され、今では25加盟団体を擁する道内でも屈指の体育協会に発展され、今日を迎えられています。

この間、施設の拡充など環境整備に力を注がれるとともに、各種国際大会や高校総体、さらに、はまなす国体を成功に導くなど、数々の実績を残されたほか、歴史ある「サフォークランド士別ピヒカラ樹氷歩くスキー大会」の開催や健康・体力づくりサポート事業、スポーツ少年団育成事業、競技力向上事業などに取り組まれています。また、住民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しみ豊かなライフスタイルをめざす、「総合型地域スポーツクラブ」の運営も、各地域で大きな効果を生んでいます。

これも偏に、5代目会長であります神田英一様をはじめ、歴代会長及び役員、並びに会員各位のご尽力の賜と心からの敬意を表する次第です。

さて、スポーツは、人格の形成や体力の向上、健康長寿の礎であるとともに、地域の活性化など、明るく豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない存在です。本市は、平成17年に「健康・スポーツ都市宣言」を行い、市民一人ひとりが健康に心をつかい生涯を通してスポーツに親しむため、各種施策を推進していますが、少子高齢化社会への対応や学校と地域との連携、健康増進、体力向上、子育て支援など、地域が抱えている様々な課題の解決に向けた施策を推進している本市にとって、スポーツを振興することは、従前にも増して重要な責務となっています。そのような中、貴会におかれましては、豊かな自然や充実したスポーツ施設を生かした各種スポーツ大会の開催に積極的に関わり、スポーツ振興はもとより、青少年の健全育成、合宿の里づくりなど、スポーツによるまちづくりに対しましてもご支援とご協力をいただいていますことに心から感謝申し上げます。

結びに、士別市体育協会におかれましては、この60周年をひとつの節目とされ、今後ますますご発展されますよう、さらには、加盟団体のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



一般財団法人士別市体育協会創立60周年・ 財団法人設立30周年記念誌の発刊を祝して

公益財団法人北海道体育協会

会 長 堀 達 也

一般財団法人士別市体育協会創立60周年及び財団法人設立30周年に及ぶ輝かしい歩みを記念し、ここに記念誌が発刊されますことを心からお慶び申し上げます。

また、貴協会は、昭和46年に私ども北海道体育協会に加盟いただいて以来、共に手を取り道民の体力向上とスポーツの振興と普及に取り組んでいただいておりますことに衷心より感謝申し上げます。

貴協会は、昭和32年に創立されて以来、士別市内のスポーツ団体を統括する唯一の団体として着実に発展し、指導者講習会やスポーツ少年団の育成などの事業をはじめ競技力向上、生涯スポーツの振興に積極的に取り組まれており、アマチュアスポーツの普及振興と市民の心身の健全な発達、更には市内複数の体育施設の管理運営を担うなど、地域のスポーツ振興に大きく寄与されるとともに、士別市の中核的な役割を担っておられます。

緑豊かで四季折々の姿を見せる大地において、現在では、加盟25団体、スポーツ少年団13団、団員420名を統括し、真摯にスポーツ振興に取り組まれてきた数々の実績は、歴代の会長さんを始め、先達の方々並びに関係する多くの皆様方のこれまでのご苦労とご努力によって脈々と引き継がれたものであります。

さらに、財団法人化され30年の節目を迎えられましたことは、安定した質の高い法人運営を遂行されてきた実績の積み重ねであり、改めて心からの敬意を表するものであります。

2020年に東京オリンピック、パラリンピックの開催が決定して以降、道内各自治体において合宿誘致が盛んになっておりますが、士別市においては、それ以前から合宿の里としての地位を確立され、現在では年間2万人にも及ぶ合宿実績があると伺っております。

これらは、行政、体育協会、競技団体をはじめ地元関係者の皆様が一丸となって取り組まれてきた成果であり、道内では最先端の合宿受入体制が整った合宿地として、各市町村を牽引しているものと考えているところであります。

道体協といたしましては、2020年東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会の開催や、札幌冬季オリンピック・パラリンピックの開催招致活動、さらにはトップ選手の姿を間近に感じられるスポーツ合宿などは、スポーツ王国北海道の実現を目指す私たちにとって大きなチャンスであります。

また、依然として全国に比べ低位にある、道内の子ども達の体力運動能力の向上に向けたきっかけづくりにも繋がるものとして考えており、引き続き、加盟市町村体育協会や競技団体の皆様をはじめ、道や道教委とも連携・協力し、様々な取り組みを広げて参りたいと考えておりますので皆様方の一層のご協力をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、貴協会におかれましては、これまでの輝かしい歴史を礎として、どうか今後とも本道スポーツのトップリーダーとして、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに貴協会のさらなる発展を祈念しお祝いの言葉とさせていただきます。



記念誌の発刊を祝して

衆議院議員

佐々木 隆博

士別市体育協会創立60周年並びに財団法人設立30周年を迎えられ、先輩諸兄並びに星霜を積み重ねられた歴史に刻まれた全ての人々に、心から敬意とお祝いを申し上げます。

士別市体育協会が創立された昭和32年は戦後の復興が盛んとなり人々が生活の基盤を作りつつある頃、いち早くスポーツの振興普及に取り組まれた先輩諸兄の先見性に、重ねて深く敬意と感謝を申し上げます。

士別市は北海道の北部に位置し、農業とめん羊のまち、そして「スポーツ合宿のまち」として全国に広く知られてまいりました。そして、いま、「合宿の聖地をめざして」を合言葉に「鍛え、磨き、高めて 士別から世界へ」とまちをあげて取り組み、今では毎年2万人にも及ぶアスリートが士別市で合宿をするまでに成長し、合宿件数は道内のトップクラスとなっています。

振り返れば1970年代から実業団、学生はもとより海外のチームの合宿招致に力を入れ、2007年世界陸上大阪大会ではドイツが選手団の合宿地に選び、翌年の北京五輪の合宿の地になりました。マラソン金メダリストの高橋尚子さん、野口みずきさんらも、この「合宿の里」で調整されたのです。ウエイトリフティングでは台湾の選手受け入れが実現し、日本と台湾のスポーツや文化、教育の国際交流にも大きな礎を築きました。そして、2020年東京五輪・パラリンピックの事前合宿の誘致も視野に、地域活性化策として「スポーツ合宿の里」士別への期待はますます高まってきているのです。

増田明美さんがブログで「ホテルから丘の上のクロスカンントリーコースへ…木々の緑に包まれた一周2キロと1.5キロのコース。鳥のさえずり、虫の声も聞こえ、まるで欧州の森に居るよう…選手や監督の要望に応じて、市が整備した…」と話されます。士別市をはじめ体育協会の皆さんが、トップアスリートや選手の皆さんの気持ちを受け止めてこられた証そのものです。競技場・コート・体育館・トレーニングセンターなどハード面の充実と合わせて、食事やおもてなしなど選手の内面や生活にかかわるきめ細かな対応を進めてこられた賜物であると思います。

士別市体育協会60周年及び法人化30周年を契機に、大地と自然に恵まれた道北のまち士別において、これまで培ってきた皆様のご努力とスポーツを通じて広がる交流の輪を最大限生かし、士別市体育協会が今後ますます大きく飛躍されることを心よりご祈念申し上げます。歴史の荒波や幾多の困難を乗り越えてこられた、先輩諸氏のご努力に、あらためて感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

「郷土に活力」が私の信条です。皆様とともに「故郷」の発展ために努力することをお誓い申し上げ、記念誌発刊のご挨拶とさせていただきます。



創立60周年を祝して

士別市議会議長

丹 正 臣

士別市体育協会が創立60周年並びに財団法人設立30周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。また、この節目に協会の活動と業績を後世にとどめられる記念誌を発刊されることは誠に意義深いことであり、お喜び申し上げます。

貴協会におかれましては昭和32年の設立以来、昭和から平成へと移り変わる時代の中、60年の長きにわたり、スポーツを通じた市民の健康増進と地域交流を推進し、健康で明るく元気なまちづくりに大きく寄与されてきました。また、地域のスポーツ振興の拠点であります総合体育館をはじめ、多くの運動・スポーツ施設の管理業務を担っていただいていることに感謝を申し上げます。

こうした輝かしい伝統と業績を後世に継承することができますのは、歴代の会長をはじめ役員、会員の皆様がスポーツを通じた社会貢献に情熱を傾注され、様々な課題に向き合い、市民スポーツの普及振興に取り組まれるなど、ご尽力の賜物と深く敬意を表するものであります。士別市は「健康・スポーツ都市宣言」を行い、市民の健康づくり事業、スポーツ施設の整備、生涯スポーツの振興、合宿の聖地創造事業などに積極的に取り組んでおり、貴協会やスポーツクラブをはじめとした関係団体のご協力により「スポーツを愛し、元気なまちをつくります」と謳われている市民憲章の実践に結びついていることに改めて感謝申し上げます。

今日、わたしたちを取り巻く社会環境は、日々大きく変化しております。余暇の増大、高齢化社会の到来などにより、以前にも増して、健康で明るく豊かな生活が求められております。このようなことからスポーツへの関心は日ごとに高まっており、スポーツが果たす役割は、ますます増えています。

このような中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、日本に大きな期待と喜びをもたらすとともに、次代を担う子どもたちに夢と希望を与える契機となりました。このことは市民が運動・スポーツに関心や親しみを持つ大きなきっかけともなり、地域に身近な存在である体育協会の役割も増大してくるものと思っております。貴協会におかれましては、これまで以上にスポーツの競技力向上はもとより、スポーツ愛好者の裾野拡大にご尽力いただき、スポーツの振興と地域の活性化にご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この60周年を節目として、さらに市民に親しまれ、スポーツが生活の中に定着されますことをご期待申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と会員皆様のご活躍を祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



士別市体育協会創立60周年記念に寄せて

北海道議会議員

北 口 雄 幸

士別市体育協会創立60周年並びに財団法人設立30周年、誠におめでとうございます。

士別市体育協会は、市民のスポーツ振興のため昭和32年に創立されて以来、様々な活動を進められた結果、士別市はまさしく「スポーツの街」「合宿の街」として見事に定着しました。

このことは、体育協会に関係する多くの皆さんのご努力によることが大きいと存じますが士別市民のスポーツに関する思いも大きく寄与していることと思います。

私事で恐縮ではありますが、私は高校入学と同時に先輩に誘われレスリング競技を始めました。

士別高校レスリング部の部室には、東京オリンピックで金メダルを獲得した渡辺長武（わたなべおさむ）先輩の写真が掲げられ、「レスリングをやってオリンピックに出よう」が、私たちの合い言葉でした。

レスリング競技は、体重別で試合が行われるため、試合前に自分で登録した体重にコントロールすることが大変で、食べたい気持ちを抑えて1週間で7～8キロの減量をして、ようやく試合に出場したことも、今となっては懐かしい思い出です。

レスリングに明け暮れた高校生活でしたが、結果として力及ばず高体連全道大会の決勝戦で敗れ、悔し涙を流したことが昨日のこのように思い出されると同時に、この3年間の経験が、自分を大きく成長させてくれたものと感謝しています。

このようにスポーツは、ひとり一人の人生の中で大きな影響を与えます。特に、スポーツやその競技が好きになるか嫌いになるかは、指導者の影響によることが大きいと思いますが私は高校時代に素晴らしい指導者に恵まれたことも幸いでした。

したがって、私は指導者の育成が大切であると常日頃から感じているところあり、その点で士別市体協は少年団の育成に力を入れており、とても素晴らしいことだと思っています。

また士別市は、健康・スポーツ都市を宣言しており、生涯スポーツを通じて健康で心身共に逞しい身体をつくり、人と大地が躍動する健やかな「まち」をめざしております。

その実現のため、多くの市民を巻き込んだスポーツクラブをいち早く設立し、競技スポーツから生涯スポーツへと取り組みを強化されていることに、心から敬意を表する次第であります。

今回、創立60周年、法人化30周年を契機に、今後ともスポーツが多くの市民に親しまれ、心身共に健康なまちづくりをめざすためにも、士別市体育協会の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。この度は誠におめでとうございます。



創立60周年をお祝いして

士別市教育委員会

教育長 中 峰 寿 彰

士別市体育協会が、創立60周年と財団法人化30周年を迎えられましたことに、心からお喜びを申し上げます。

貴協会は、昭和32年に、初代会長の故清光正雄氏のもと10加盟団体でスタートし、以来60年の歴史を積み重ねられ、今や25団体3000名を超える会員を擁する財団法人として発展を遂げてられました。

この間、様々なスポーツの普及と強化を図るなか、オリンピック選手をはじめ数多くの選手や指導者を輩出され各種大会やイベントの開催など、輝かしい足跡を残されてきました。今日までの長い歳月の中には、幾多の困難や並々ならぬご苦勞があったものと拝察し、歴代会長をはじめ関係各位のご尽力に深く敬意を表するところです。

また、「健康・スポーツ都市」を宣言するとともに、生涯スポーツの振興や「合宿の里づくり」を推進する本市にとって、貴協会のスポーツ行政に対するご貢献は、誠に多大なものがあり、これまでのご支援ご協力にあらためて感謝申し上げる次第です。

2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決まり、「合宿の里づくり」を進める本市としても、「合宿の里士別ステップアッププラン」を策定するとともに、地方創生の取り組みである「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「合宿の聖地創造」を位置づけ、合宿招致やスポーツイベント、施設整備等を計画的に進め、交流人口の拡大や地域の活性化をめざしています。そのためにも、スポーツを愛する一人ひとりの市民の理解や、貴協会をはじめ加盟団体の皆さんのご協力とさらなる連携・連帯が不可欠です。

人口減少と少子高齢化の急速な進行など、社会環境が大きく変化する今日にあって、スポーツの果たす役割はますます重要となっており、競技スポーツの普及・強化のみならず、生涯スポーツの振興と青少年の健全育成、さらには保健・医療との連携など、貴協会が果たす役割は益々重要となるなかで、大きな期待が寄せられています。

貴協会が60周年を契機に、一層発展されますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

士別市体育協会 60年のあゆみ

写真で振り返る士体協の10年

士別市体育協会 60年のあゆみ

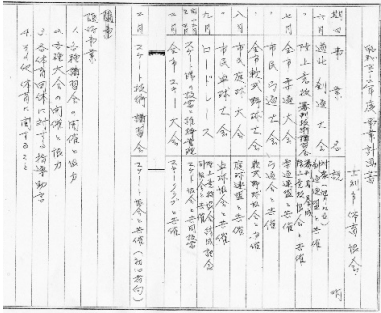
昭和										和
52年	51年	49年	47年	46年	44年	40年	34年	33年	32年	
士別市体育協会設立準備委員会が発足										士別市体育協会設立準備委員会が発足
十加盟団体により士別市体育協会発足										十加盟団体により士別市体育協会発足
初代会長に清光正雄氏が就任										初代会長に清光正雄氏が就任
総合グラウンド建設推進委員会発足										総合グラウンド建設推進委員会発足
体育協会第二代会長に印藤栄二氏就任										体育協会第二代会長に印藤栄二氏就任
陸上競技場、スキー場、野球場等の整備充実を市に陳情										陸上競技場、スキー場、野球場等の整備充実を市に陳情
体育館建設促進協議会を発足し、市、市議会に早期建設の陳情書を提出										体育館建設促進協議会を発足し、市、市議会に早期建設の陳情書を提出
財団法人北海道体育協会に加盟										財団法人北海道体育協会に加盟
第一回士別市体育協会スポーツ表彰実施										第一回士別市体育協会スポーツ表彰実施
士別市総合体育館落成記念にバレーボール日本リーグ招待試合開催										士別市総合体育館落成記念にバレーボール日本リーグ招待試合開催
歩くスキーの元祖エリキ・ピヒカラ氏による講演会実施										歩くスキーの元祖エリキ・ピヒカラ氏による講演会実施
日中交歓卓球士別大会開催										日中交歓卓球士別大会開催
体育協会第三代会長に今井忠則氏就任										体育協会第三代会長に今井忠則氏就任
体育協会創立二十周年記念式典・第一回市民スポーツのつどい開催										体育協会創立二十周年記念式典・第一回市民スポーツのつどい開催



▲日中交歓卓球士別大会 歓迎レセプション



▲ピヒカラ氏を先頭に「歩くスキー講習会」



▲体協設立総会議事録

士別市体育協会 60年のあゆみ

平成				昭和				和			
5年	3年	2年	元年	63年	62年	60年	58年	57年	56年		55年
北海道スポーツ少年大会開催				第一回士別ハーフマラソン大会開催				国体ウエイトリフティング競技の開催地に決定 スポーツ少年団本部を設置 体育協会組織に一本部三委員会を設置 体育協会シンボルマーク決定			
第一回オリンピックデーラン士別大会開催				体育協会創立三十周年・財団法人設立記念式典挙行				国体ウエイトリフティング競技準備委員会設立 スポーツ表彰にジュニア・スポーツ奨励賞新設			
日独スポーツ少年団同時交流事業受入				士別市からふどう公園、グリーンスポーツ、学田スキー場等の管理業務を受託				体育協会総会にて財団法人格取得の承認			
第四十四回はまなす国体ウエイトリフティング競技大会開催											



▲第44回はまなす国体ウエイトリフティング競技大会開催



▲第1回士別ハーフマラソン大会



▲体育協会財団法人設立準備委員会設立総会

士別市体育協会 60年のあゆみ

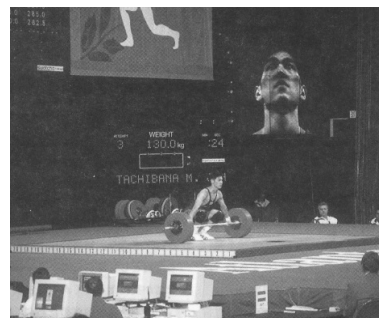
平成											
19年	18年	17年	16年	15年		14年	12年	11年	10年	9年	8年
士別市体育協会創立五十周年・財団法人設立二十周年記念式典挙行	スポーツ表彰に生涯スポーツ賞を新設	士別市から総合体育館・青少年会館の管理業務を受託	士別市から第四代会長に岡田晃氏就任	士別市からふどうパークゴルフ場の管理業務を委託	士別中央・上士別・温根別の各地区にスポーツクラブ設立	士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会設立	多寄スポーツクラブ設立	士別市から剣淵川パークゴルフ場の管理業務を受託	中峰寿彰・工藤博文両選手（市職員）カーリング競技で長野五輪出場	総合型地域スポーツクラブモデル事業実施	橋典人選手ウエイトリフティング競技でアトランタ五輪出場



▲総合型スポーツクラブ設立（多寄町民健康教室）



▲中峰、工藤 両氏が長野五輪出場



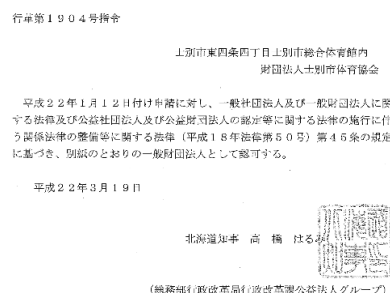
▲橋氏がアトランタ五輪に出場

士別市体育協会 60年のあゆみ

平成					
26年	25年	24年	23年	22年	20年
第四十一回日独スポーツ少年団同時交流事業（受入）	二十四年ぶりプロ野球公式戦・イースタンリーグ「北海道日本ハム」対「東京ヤクルト」戦 ふどう野球場で開催	健康・体力づくりサポート事業「V02測定」導入で全身持久力測定が可能に	市内フットパスコース五コースを設定（市、体協タイアップ）	公益法人改革三法施行に伴い一般財団法人へ移行	須田力氏（北大名誉教授）健康・体力づくりサポート事業アドバイザーに就任
		健康・体力づくりサポート事業「V02測定」導入で全身持久力測定が可能に	第三十七回日独スポーツ少年団同時交流事業（受入）	第五代会長に神田英一氏就任	北京五輪に出場のドイツ陸上選手団五十七名が直前合宿を実施
		健康・体力づくりサポート事業「V02測定」導入で全身持久力測定が可能に	市内フットパスコース五コースを設定（市、体協タイアップ）	公益法人改革三法施行に伴い一般財団法人へ移行	競技力アップトータルサポート事業開始
		健康・体力づくりサポート事業「V02測定」導入で全身持久力測定が可能に	市内フットパスコース五コースを設定（市、体協タイアップ）	公益法人改革三法施行に伴い一般財団法人へ移行	瀧上賢治選手がバンクーバーパラリンピックノルディックスキージャンプに出場



▲雪中ガチンコ運動会（総合型クラブ主催）



▲士別市体育協会 一般財団法人へ移行



▲須田氏による科学的根拠に基づいた健康・体力づくり事業▲

士別市体育協会 60年のあゆみ

平成

28
年

27
年

北海道日本ハムファイターズ事業「北海道スマイルキャラバン」中央公園で開催
北海道日本ハムファイターズ「北海道市町村応援大使」として木佐貫選手、市川選手が大使に就任

ピヒカラ樹氷歩くスキー四十回記念大会開催

トヨタ自動車株式会社女子ソフトボールチームが市へ表敬訪問

日本ウエイトリフティング協会ナショナルチーム合宿を実施

二〇二〇年オリンピック・パラリンピック東京大会ホストタウン構想で一次登録
第九十二回箱根駅伝優勝「青山学院大学」小椋裕介選手（士別市出身）が二年連続七区間賞

競技力アップトータルサポート事業「ジュニア選手強化育成プログラム」を実施

全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会開催（十二年ぶり）

旧青少年会館改修及び総合体育館トレーニング室拡張

士別ハーフマラソン三十回記念大会

士別地域日台親善協会設立



▲「ジュニア選手強化育成プログラム」スポーツメンタル/チームビルディング（左）、実践スポーツ栄養学/勝ち弁レシピ（右）

▲ピヒカラ樹氷歩くスキー40回記念大会

平

成

29
年

第三十五回全日本スノーボード選手権大会北海道地区大会が日向スキー場で初開催

総合体育館トレーニング室内に低酸素・高酸素ルームを設置

新たにジュニア選手・団体への「全道大会選手参加奨励金」規程を制定

国立台湾師範大学ウエイトリフティング部士別合宿

第一回アジア交流少年サッカー士別大会開催

国立台湾大学陸上部士別合宿

体育協会創立六十周年・財団法人設立三十周年記念式典

須田 力氏（北大名誉教授）へ特別功労賞授与



▲体協創立60周年・財団法人設立30周年記念式典



▲低酸素ルームでトレーニングを行う陸上競技合宿中の選手

平成20年度

健康・体力づくりサポート事業がスタート
事業アドバイザーに 須田力氏（北大名誉教授）が就任



▲平成20年度第1回健康・体力づくりサポート事業

▲アドバイザーの北大名誉教授 須田 力氏による講演

刊 定価 1ヶ月1,120円(税別)
道 北 日 報

(発行)24年4月30日第8週第8版発行
日 刊 第14150号

スポーツで健康と体力づくり

サポート事業を実施

総合型スポーツ 協会 日常での継続的実践を目指す

士別市総合型スポーツ協会と市体育協会は、本年第1回健康・体力づくりサポート事業の第1回健康・体力づくりサポート事業を開催した。この事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。

士別市総合型スポーツ協会は、本年第1回健康・体力づくりサポート事業を開催した。この事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。

体組成計活用で相談も

体組成計は、体脂肪率、筋肉量、骨量などを測定できる。この装置を活用して、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。

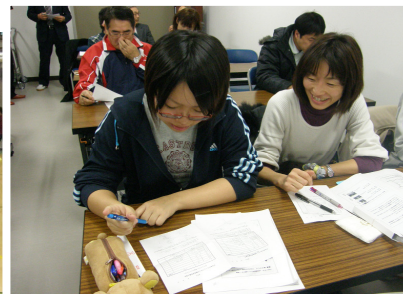
体組成計は、体脂肪率、筋肉量、骨量などを測定できる。この装置を活用して、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。事業は、市民の健康と体力づくりをサポートし、日常での継続的実践を目指す。

親睦深めプレー楽しむ

北のびき 第5回ゲートボール大会
会場 第5回ゲートボール大会
会場 第5回ゲートボール大会

29日に交通・防犯パレード

29日に交通・防犯パレード
29日に交通・防犯パレード



▲12分間歩行実施後の酸素摂取量を計算している様子。

▲12分間歩行・ランニングを実践

平成21年度

総合体育館トレーニングルームがリニューアル 有酸素運動機器と体組成測定事業を導入

▼トレーニングルームに導入した有酸素運動マシンでトレーニングする市民



▲体組成測定でトレーニング効果を数値で確認

士別市総合型地域スポーツクラブ開設10周年 記念事業で2事業を開催

健康スポーツ科学館

健康ストレッチ塾



▲須田力氏（北大名誉教授）、内山良朗氏（あると）の2名の協力を得て
電子工作などで運動の仕組みやスポーツ科学のふしぎを楽しく学習

▲五十公野修氏（イズミック）、上田知行氏（北翔大准教授）の2名の講師に
よる正しいストレッチや自重トレーニングの実技指導

平成22年度

スポーツ科学に基づく測定で選手をサポート
競技力アップ・トータルサポート事業がスタート

北都新聞

2010年（平成22年）12月27日（月曜日）

第11106号 (日 刊)



なが、股関節と膝関節の間に、クッションの役を
果たす。このクッションが、運動の衝撃を吸収し、
骨と骨の間に直接の衝突を防止する。クッション
の役を、軟骨が果たしている。軟骨は、軟弱な
組織で、弾力性があり、摩擦を減らす。軟骨は、
運動の衝撃を吸収し、骨と骨の間に直接の衝突
を防止する。軟骨は、軟弱な組織で、弾力性
があり、摩擦を減らす。軟骨は、運動の衝撃を
吸収し、骨と骨の間に直接の衝突を防止する。

【土別】市体育協会（神田寛一会長）は今年度から新たに競技力アッププログラムサポ
ト事業を実施している。スポーツ科学に基づき測定を行い、その結果を競技力向上に生か
してもらう取り組みも始めた。（古谷勝博）

(古谷勝博)

体協では、来年度競技力アップツアーサポート事業を継続し、スポーツ界を支

士別市体協

トータルサポート事業実施
競技力アップを支援

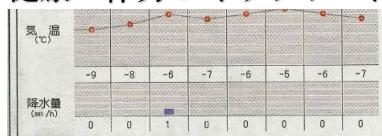
測定値 適切なトレーニング強度算出



▲講師 須田北大名誉教授による血中乳酸値測定



冬の健康づくりにスノーシュー教室が開始
健康・体力づくりサポート事業



景観楽しみ雪原を散策

別
士
別
市
民
が
ス
ノ
ー
シ
ュ
ー
体
験

士別中央スポーツクラ
フと主催スノーシュー
クラブの共催事業「ス
ノーシュー教室」が、13日に
陸上競技場周辺で行わ
れ、参加者が景観を楽し
みながら雪を流した。
この教室は冬期間の健
康・体力づくりをサポ
トすることを目的に、
初めから実施。
西洋式かんじきの
スノーシューは、通常

說明。

スノーシューを体験する参加者

このあと参加者はスノーシューを約1時間競技場を出発し、雪に足をつけてグリースボツまでを往復し、景や動物の様子を観察した。スノーシュー教は3月17日までの毎週木曜日に行い、羊と雲の日や相神の松などさまざまなコースを巡ることになっている。

▲士別中央スポーツクラブと士別スノーシュークラブの共済事業して開始
新聞記事：道北日報社 平成23年1月

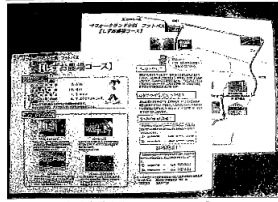


▲丘陵地を歩く参加者（羊と雲の丘）

平成23年度

市（商工労働観光課）とタイアップし フットパスコース5コースを設定

道 北 日 報 (昭和24年4月30日第3号(厚別区)) 日刊



観光と体力作りのコースマップ

観光と体力作り タイアップ フットパス

案内に加え運動効果を記載

士別市と体育協会

士別市に5コースのフットパスを設定し、観光と体力作りを兼ねたコースマップを作成した。このマップは、市と士別市体育協会のタイアップによるもので、市内の各所に設置されている。このマップは、市内の各所に設置されている。このマップは、市内の各所に設置されている。



士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

士別市と体育協会

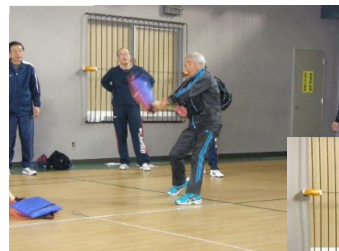
健康・体力づくりサポート事業 雪かきも運動！ショベルングパワーテスト

▼裏面には運動強度「メッツ」など健康科学に基づくデータを記載



▲健康体力づくりセミナー 講師：須田力氏（北大名誉教授）

特別豪雪地帯でも活発・活動的に。地域に根差した士別オリジナルの健康づくりが重要であると提唱



ピヒカラ樹氷歩くスキー大会との複合開催 総合型スポーツクラブ主催「雪中ガチンコ運動会」



▲ソリリレーなどの雪上種目で大盛況の運動会



▲スノーパークフィールドの開設（バナナポート・スノースライダー）



平成24年度

総合体育館トレーニングルーム 年間利用者 初の1万人超



年 度	利用者数
平成19年度	1,570 人
平成20年度	6,654 人
平成21年度	7,865 人
平成22年度	8,016 人
平成23年度	7,398 人
平成24年度	10,053 人



平成25年(2013年)4月5日(金曜日)

道北日報

機器増設等で利用者増加

士別市 総合体育館 トレーニング室過去最多に

士別市総合体育館のトレーニング室が、平成24年度の利用者数が過去最多の1万0053人を記録した。これは、平成23年度の7398人から、約3割増加した。市によると、トレーニング室の利用者数は、平成19年度の1570人から、平成20年度に6654人と急増した。その後、平成21年度に7865人、平成22年度に8016人、平成23年度に7398人と推移していた。平成24年度は、トレーニング室に新たにランニングマシン10台、エアロバイク10台、水泳マシン10台を増設したことが、利用者数の増加に大きく貢献したと見られる。

トレーニング室の利用者数は、平成24年度に過去最多の1万0053人を記録した。これは、平成23年度の7398人から、約3割増加した。市によると、トレーニング室の利用者数は、平成19年度の1570人から、平成20年度に6654人と急増した。その後、平成21年度に7865人、平成22年度に8016人、平成23年度に7398人と推移していた。平成24年度は、トレーニング室に新たにランニングマシン10台、エアロバイク10台、水泳マシン10台を増設したことが、利用者数の増加に大きく貢献したと見られる。

トレーニング室の利用者数は、平成24年度に過去最多の1万0053人を記録した。これは、平成23年度の7398人から、約3割増加した。市によると、トレーニング室の利用者数は、平成19年度の1570人から、平成20年度に6654人と急増した。その後、平成21年度に7865人、平成22年度に8016人、平成23年度に7398人と推移していた。平成24年度は、トレーニング室に新たにランニングマシン10台、エアロバイク10台、水泳マシン10台を増設したことが、利用者数の増加に大きく貢献したと見られる。

競技力アップ・トータルサポート事業 「スポーツ栄養」をテーマにした新しい取り組み

道北日報

ジュニア選手の競技力向上を

生徒それぞれに的確な指導

健康・食生活改善 めざし調査

士別市体育協会

本年度初めて実施した栄養調査の結果、ジュニア選手の競技力向上を目的とした「スポーツ栄養」をテーマにした新しい取り組みが、士別市体育協会によって行われている。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。

本年度初めて実施した栄養調査の結果、ジュニア選手の競技力向上を目的とした「スポーツ栄養」をテーマにした新しい取り組みが、士別市体育協会によって行われている。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。

本年度初めて実施した栄養調査の結果、ジュニア選手の競技力向上を目的とした「スポーツ栄養」をテーマにした新しい取り組みが、士別市体育協会によって行われている。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。この取り組みは、ジュニア選手の競技力向上を目的として、栄養調査を実施し、その結果に基づいて、それぞれの選手に的確な指導を行うことである。



▲採血したデータから選手の貧血や栄養状態を分析



▲選手の栄養調査普段の食事について回答



▲コンサドーレ札幌専属管理栄養士の小松信隆氏による栄養学セミナー

平成25年度

メンタルトレーニングを取り入れた事業を開始
競技力アップトータルサポート事業

▼講師 吉田聡美氏 (コンディショニング・ラボ代表)
ロンドンパラリンピック心理スタッフ
スポーツメンタル上級指導士



▲グループワークやディスカッションを実施し、メンタルトレーニング

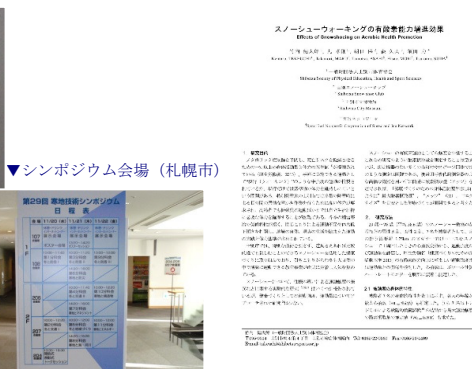
勝てる食事をテーマにした「勝ち弁レシピ」調理実習会
ジュニアアスリートと保護者、指導者が対象



▲調理した献立

▲選手だけでなく、保護者や指導者の共通認識が図れる内容で実施されたスポーツ栄養をテーマにした調理実習会

寒地技術シンポジウムで論文発表 スノーシューウォーキングの有酸素能力増進効果

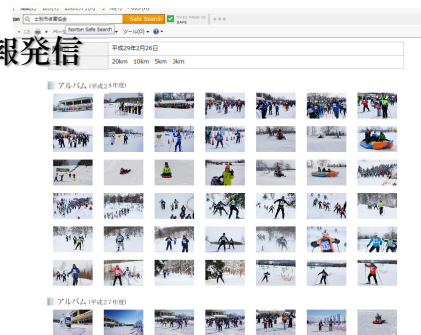


▼シンポジウム会場（札幌市）

▲研究内容が掲載された論文集

士別市体育協会ホームページを開設

事業報告など写真や動画を併せて情報発信



北海

士別市
総合体育館



▲数種類のトレーニングが可能なマシンに重い専用固定金具を設置（左）



▲スポーツ振興基金造成の集い実行委員会から市に寄贈した車いすでも使える有酸素運動機器（右）

すでも筋トLOOK

手でリバーを回して町
歩き、バスを回して町
歩く。二の浦津つ
いた實を好むの負傷引
づ張るのと、負傷引
殿をもリアル・アシシ
ンター・フリー・ウイ・デ
ュアルは一階だが、運
動時にひくくおとなふ
う重い床に座ると器具
員を待たず、市が総額約
100万円をかけて導入し
た。

体育館で選手や市民皆
協会などに、地方都市の
かにも施設整備と市民利
用用のトレーニング場が
入るのは例外。公共設
ては利用者の要を多く
て機器を導入すること多
く、車いすを使える人
て反転させることになら
原因として。

士別では、市民の健康
に助けてくれる北の
須田川市役所から提供が
あり、体育と市民協協
議が実施。車いす利用

器器導入「活用法、利用者と一緒に」

の導入パスもいぶ衣
25日は、市西や南の
車いす利用者をつき通
北車いすの会、倉くら
て、機会を設けるに利用
合、社会福祉の本弘弘
きさん62は、口つか用
意して入れたトレーニング
機器で、実際に活用し
てきた。

一方、市には「車いす
を使って、七、八切な、白
分の体感と足の力加減
を伝えることができる。
体にはまだ、その方
が一つについていて、
は補助的な存在だ。なれ
るも、体の規則さはそ
う。体の利用者は、足
に不慣れ、障害があるも
運動しやすい環境をつ
つきたい。」

トレーニング者の利用は
5月（後期）開始した
市民への利用可能時
いはば、市民は、
22・23・24・25・26・27・28・29・30・31

朝日町ジャンプ台見学



▲地元高校生・リーダーを中心にした受入プログラムが大成功



空手道少年団体験



弓道体験

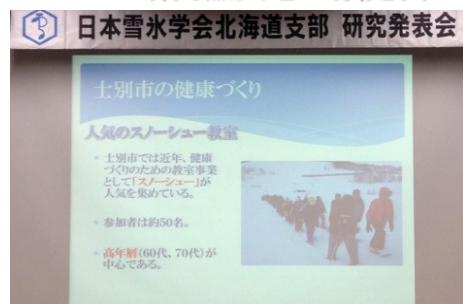
日本雪氷学会北海道支部で
スノーシュー研究論文を口頭発表



▲講師 須田力先生による健康セミナー



▲職員の体組成測定



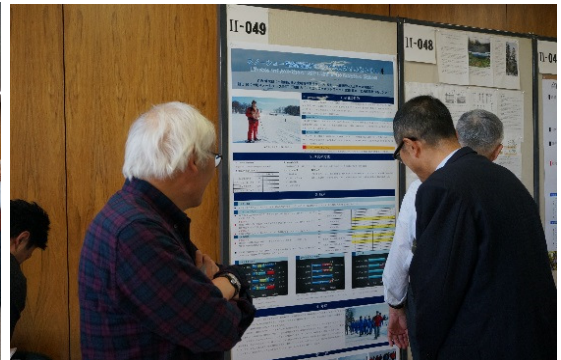
▲スノーシュー運動の体力向上効果について口頭発表

平成27年度

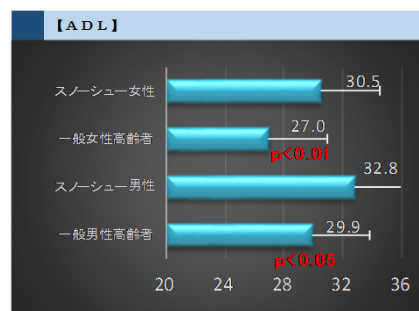
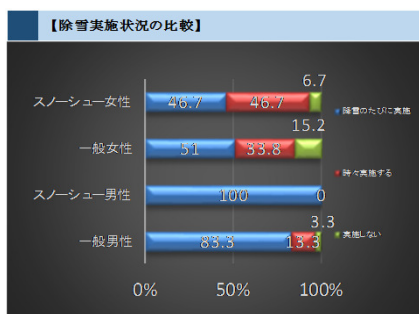
体協と士別スノーシュークラブの共同研究をポスター発表 科学的根拠に基づく士別オリジナルの健康・体力づくり



▲研究成果をポスター掲示で発表した会場（札幌市コンベンションセンター）



▲スノーシューの研究結果を説明する共同研究者の
朝日 保氏（士別スノーシュークラブ）



▲健康・体力づくり事業アドバイザーの北大名誉教授 須田力氏の調査協力を得て分析された結果

スノーシューは健康寿命の延伸だけでなく、社会的な活動性を高める可能性も期待できると考察された研究論文。

栄養・メンタル・コンディショニングの3要素を基本とし、 各分野の専門家が学校運動部を含むジュニアアスリートを徹底サポート



▲メンタルセミナー



▲チームワークを高めるメンタルトレーニング



▲選手の保護者、指導者を対象にしたメンタルセミナー



▲栄養：勝ち弁レシピ（調理実習会）



▲栄養：貧血傾向の有無などの個人面談



▲貧血検査（旭川医師会による採血）

平成28年度

士別から全道、全国、世界で活躍する選手を！
「ジュニア選手強化育成プログラム」スタート



▲モデルクラブには士別中学校陸上部とジュニアレスリングクラブ士別



小松 信隆 先生

ウェルネスプランニング札幌 代表

コンサドーレ札幌専属管理栄養士



吉田 聡美 先生

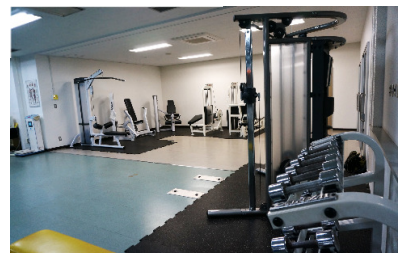
コンディショニング・ラボ 代表

スポーツメンタル上級指導士

市民の健康・体力づくりの拠点総合体育館トレーニングルーム拡張
より開放的な空間になり利用率もさらに増加



▲利用人数やマシンの増加に伴い広く拡張された総合体育館トレーニングルーム



平成29年度

士別市体育協会創立60周年・財団法人化30周年を迎える



▲300名を超える参会者で盛会となった記念祝賀会



▲60周年記念スライドムービーの上映



▲記念式典同日に市民スポーツのつどいも挙行された

士別市体育協会創立60周年・財団法人化30周年

特別功労賞 健康・体力づくりサポート事業アドバイザー 須田 力氏



北海道大学名誉教授

須田 力 氏

平成20年度から開始した当協会の重点課題として位置づけている「健康・体力づくりサポート事業」において、科学的根拠に基づいた事業展開を図るためにスポーツ健康科学の専門家として事業アドバイザーに就任を頂きました。

事業開始から今日まで、健康セミナーやスポーツ健康科学をテーマにした教室など、幅広い年齢層に対してスポーツと健康の重要性を実践的に指導して頂いております。中央都市部以外では実施困難とされている、全身持久力や血中乳酸値などの専門性の高い測定の実施も含め、市民の健康体力づくりに関する事業全般において専門的なご助言を頂き本事業の推進に多大なご尽力をされておられます。また、須田氏は、スポーツ健康科学の分野では、積雪寒冷地に根差した健康運動に精通されており、全国的に報告事例の少なかった「スノーシューの運動効果」を検証する研究にもご協力頂き、これまで当協会が実施できなかった研究事業にも献身的なサポートを頂いております。

科学的根拠に基づいた当協会の健康・体力づくりサポート事業

全身持久力の向上が最重要課題！

本事業では特に「全身持久力」の向上に重点を置いた事業推進を図っており、国際的な研究や、須田氏の長年にわたる研究でも「全身持久力」を向上させることが生活習慣病や心疾患、肥満などのリスクを軽減させる効果があることが証明されています。その指導を基に、体力レベル（全身持久力）を簡単なウォーキングで数値化する測定事業や、ウォーキングやスノーシュー等の教室事業も充実し、日常生活における市民の運動が定着されるようになってきました。



研究調査やシンポジウム発表にも挑戦

情報の「解析」と「発信」を意識したこれまでの10年！



当協会はこれまで専門家である須田先生の協力を得て、近年、人気を集めているスノーシュー教室の運動効果を実証する研究調査にも挑戦し、シンポジウムや学会において研究成果の発表も実現させることができました。さらに、研究の続編として、北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センターとの共同研究も実現しています。これらの士別オリジナルの研究調査の成果は健康づくりに励む市民への情報提供とすることはもちろん、HP等を活用し、積雪寒冷地に根差した健康・体力づくりの提案として発信しています。



健康・体力づくりに関する研究

社会体育施設管理業務受託事業

健康・体力づくりに関する研究

北海道における総合型地域スポーツクラブの展開～実践とその展望～

(北海道体育学研究, 39巻P53, 2004)

今井忠則 (士別市体育協会会長)

大沼義彦 (北海道大学)

宇留間昂 (北海道教育大学)

村上之敏 (前上川中部広域スポーツセンター事務局)

豪雪地住民の生活機能向上のための在宅トレーニングプランの開発と効果に関する研究

(平成16～17年度科学研究費補助金(基礎研究B) 研究成果報告書)

須田力 (北海道大学)

川口明人 (北海道大学)

森田勲 (北海道医療大学)

岡田晃 (士別市体育協会会長)

今井忠則 (士別市総合型地域スポーツクラブ会長)

福田公孝 (市立三笠総合病院)

士別市中高齢者の在宅トレーニングによる体力の向上の効果

(北海道体育協会スポーツ科学委員会研究報告, Vol. 25, 2005年)

須田力 (北海道大学)

佐久間一郎 (北光循環器病院)

土橋和文 (札幌医科大学)

佗美靖 (北海道文教大学)

浅尾秀樹 (浅井学園大学)

森田勲 (北海道医療大学)

岡田晃 (士別市体育協会)

今井忠則 (士別市総合型地域スポーツクラブ)

加納修 (士別市総合型地域スポーツクラブ)

北海道の高齢者の生活機能評価指標としてのショベリング投擲力

(北海道の雪氷, No31, 2012年)

須田力 (北海道体育スポーツ研究会)

森田勲 (北海道医療大学)

上田知行 (北翔大学)

浅尾秀樹 (北翔大学)

五十公野修 (イズミック)

加納修 (士別市教育委員会)



スノーシューウォーキングの有酸素能力増進効果

(第29回寒地技術シンポジウム講演論文集, 2013年)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

森久大 (士別市立博物館)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)



スノーシューツアーの有酸素運動としての効果

(第30回寒地技術シンポジウム講演論文集, 2014年)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)



雪上ランニングの乳酸カーブ・テストによる効果

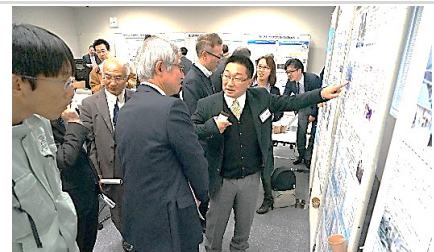
(第30回寒地技術シンポジウム講演論文集, 2014年)

玉井康夫 (士別翔雲高校)

丸孝則 (士別市体育協会)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)



スノーシューウォーキングにおける先導者と後続者の運動強度の差異

(北海道の雪氷, No. 33, 2014年)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)

白川和希 (北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター)



スノーシュー愛好高齢者のライフスタイルとADL

(第31回寒地技術シンポジウム講演論文集, 328-331, 2015年)

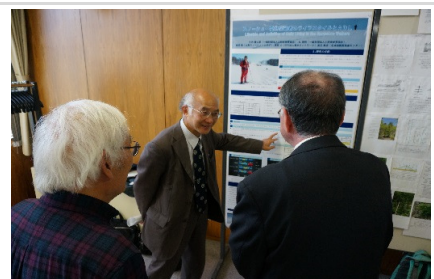
竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)

富田真未 (北海道開発技術センター)



豪雪地高齢者の身体活動とプロダクティビティ

(北海道の雪氷, No. 34, 67-70, 2015年)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

興水賢治 (士別市教育委員会)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

富田真未 (北海道開発技術センター)

冬季における高齢者の店頭不安に関するアンケート調査

(北海道の雪氷, No. 34, 1-4, 2015年)

富田真未 (北海道開発技術センター)

金田安弘 (北海道開発技術センター)

大川戸貴浩 (北海道開発技術センター)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)

鈴木英樹 [北海道医療大学]

朝日保 (士別スノーシュークラブ)

興水賢治 (士別市教育委員会)

竹内健太郎 (士別市体育協会)

丸孝則 (士別市体育協会)

豪雪地における身体障がい者の身体活動の実態～無雪期と積雪期の比較～

(北海道の雪氷, No. 35, 71-74, 2016年)

須田力 (NPO法人雪氷ネットワーク)

尾形寿好 (中部大学)

藤丸郁代 (中部大学)

水野真佐夫 (北海道大学)

笠師久美子 (北海道大学)

小笠原英之 (NPO法人障害者の地域生活を支援する会)

浅野目祥子 (NPO法人手と手)

Physical activities of handicapped people in heavy snowfall regions.

(Proceedings of the 32nd International Symposium on Ohhotsk Sea & Polar Oceans 2017, 26-29, 2017)

T. Suda

H. Ogata

I. Fujimaru

M. Mizuno

K. Kasashi

H. Ogasawara

S. Asanome

社会体育施設管理業務受託事業

士別市総合体育館

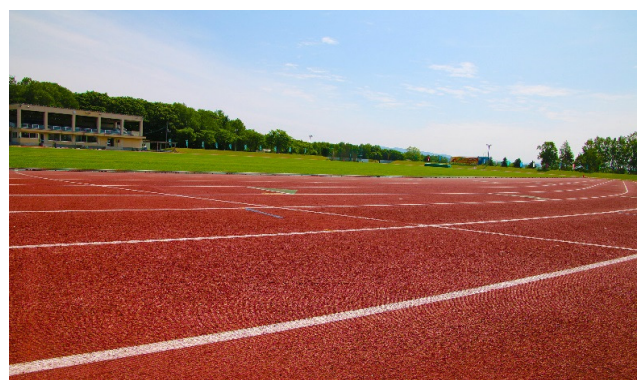


←トレーニングルーム

カーディオ系マシン	・トレッドミル ・エアロバイク ・クロストレーナー他
ストrength系マシン	・チェストプレス ・ラットプルダウン ・レッグプレス他

施設名	士別市総合体育館
所在地	士別市東4条4丁目

士別市ふどう公園施設



施設名	士別市陸上競技場
所在地	士別市南士別町1612番地3

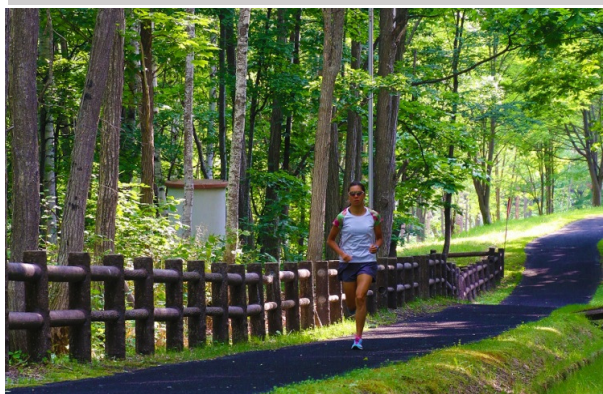


施設名	士別市ふどう野球場
所在地	士別市南士別町1612番地3



施設名	士別市ふどうテニスコート（人工芝・グリーンサンド）
所在地	士別市南士別町1612番地3

士別市グリーンスポーツ施設



施設名	士別市グリーンスポーツ施設
所在地	士別市西士別町2269番地

士別市天塩川サッカー場



施設名	士別市天塩川サッカー場
所在地	士別市東山町（天塩川河川敷）

士別市ふどうパークゴルフ場



施設名	士別市ふどうパークゴルフ場
所在地	士別市西5条3丁目から11丁目（剣淵川河川敷）

士別市天塩川パークゴルフ場



施設名	士別市天塩川パークゴルフ場
所在地	士別市下士別町（天塩川河川敷）

士別市天塩川ソフトボール場



施設名	士別市天塩川ソフトボール場
所在地	士別市東7条北9丁目（天塩川河川敷）

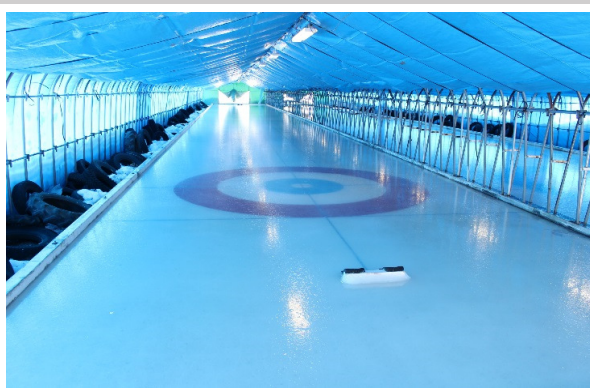
士別市つくも野球場

施設名	士別市つくも野球場
所在地	士別市東7条北9丁目（天塩川河川敷）

士別市つくもスケートリンク・カーリング場



施設名	士別市つくもスケートリンク
所在地	士別市東7条北9丁目



施設名	士別市つくもカーリング場
所在地	士別市東7条北9丁目

士別市スポーツ研修所



施設名	士別市スポーツ研修所
所在地	士別市東2条11丁目1614番地19

士別市スポーツ表彰受賞者名簿

全国・国際大会出場選手紹介

士別市スポーツ表彰受賞者名簿

(平成20年度～29年度)

スポーツ功績賞

年 度	開 催 回	受 賞 者 氏 名
平 成 25 年 度	第 42 回	岡 田 晃 (ウエイトリフティング)

スポーツ功労賞

年 度	開 催 回	受 賞 者 氏 名
平 成 21 年 度	第 38 回	菅 勝 行 (相 撲)
平 成 24 年 度	第 41 回	富 田 強 (空 手)
平 成 26 年 度	第 43 回	船 戸 義 孝 (カ ー リ ン グ)
		杉 澤 悦 男 (相 撲)
平 成 29 年 度	第 46 回	小 西 弘 (野 球)
		高 橋 弘 暢 (柔 道)
		鷺 見 謙 一 (柔 道)

スポーツ賞

年 度	開 催 回	受 賞 者 氏 名
平 成 20 年 度	第 37 回	武 田 秀 一 (多 寄)
		胡摩崎 修 (卓 球)
		西 條 昌 子 (陸 上)
平 成 22 年 度	第 39 回	古 川 敬 (ウエイトリフティング)
平 成 23 年 度	第 40 回	堀 隼 人 (士別スポーツ少年団)
		遠 藤 敦 志 (陸 上)
		士別市役所カーリングチーム (カ ー リ ン グ)
平 成 26 年 度	第 43 回	山 前 剛 (空 手)
平 成 27 年 度	第 44 回	伊 藤 博 己 (多 寄)
平 成 28 年 度	第 45 回	湊 初 男 (ソフトボール)
		旭 貴 光 (陸 上)
平 成 29 年 度	第 46 回	今 井 好 彦 (ソフトボール)
		鐘ヶ江 一将 (ス キ ー)

スポーツ奨励賞

年 度	開 催 回	受 賞 者 氏 名
平 成 20 年 度	第 37 回	寺島 慎太郎 (ウエイトリフティング)
		村 角 謙 二 (ウエイトリフティング)
		皆 川 遼 (陸 上)
平 成 21 年 度	第 38 回	佐々木 敏彦 (ウエイトリフティング)
		野 口 卓 朗 (陸 上)
		士別翔雲高校陸上部 (4×100mリレーチーム) (陸 上)
平 成 22 年 度	第 39 回	松 田 有 矢 (ウエイトリフティング)
		佐 藤 晴 紀 (陸 上)
		中 川 康 太 (陸 上)
平 成 23 年 度	第 40 回	今 井 美 奈 (トランポリン)
平 成 24 年 度	第 41 回	士別翔雲高校ウエイトリフティング部 (ウエイトリフティング)
		北 岡 喜 基 (ウエイトリフティング)
		中 川 洋 平 (ウエイトリフティング)
		若 松 慎 也 (ウエイトリフティング)
平 成 25 年 度	第 42 回	吉 田 祐 輔 (陸 上)
		佐々木 悠 (陸 上)
平 成 26 年 度	第 43 回	二階堂 功輝 (ウエイトリフティング)
		鎌 田 聖 也 (陸 上)
		村 椿 朋 弥 (トランポリン)
平 成 27 年 度	第 44 回	後 藤 悠 史 (多 寄)
		福 本 龍 馬 (ウエイトリフティング)
平 成 28 年 度	第 45 回	澁 谷 瑠 樹 (ウエイトリフティング)
		齊 藤 玄 (ウエイトリフティング)
平 成 29 年 度	第 46 回	鈴 木 大 介 (陸 上)

ジュニア・スポーツ奨励賞

年 度	開 催 回	受 賞 者 氏 名
平 成 20 年 度	第 37 回	小 椋 裕 介 （ 陸 上 ）
		寺 島 勝 也 （ ウェイトリフティング ）
		澁 谷 翔 太 （ ウェイトリフティング ）
平 成 21 年 度	第 38 回	野 口 昇 悟 （ 陸 上 ）
平 成 22 年 度	第 39 回	鈴 木 梢 太 （ ウェイトリフティング ）
		及 川 笑 太 （ ウェイトリフティング ）
		後 藤 悠 史 （ ス キ ー ）
平 成 23 年 度	第 40 回	澁 谷 享 祐 （ ウェイトリフティング ）
		手 嶋 翔 平 （ 陸 上 ）
平 成 24 年 度	第 41 回	士別中学校野球部 （ 野 球 ）
		士別南中学校野球部 （ 野 球 ）
		三 和 拓 蒼 （ 卓 球 ）
平 成 25 年 度	第 42 回	澁 谷 瑠 樹 （ ウェイトリフティング ）
		玉 置 広 伸 （ 陸 上 ）
平 成 27 年 度	第 44 回	佐 藤 晃 大 （ ウェイトリフティング ）
		布 目 朱 理 （ 陸 上 ）
		丸 未永海 （ レ ス リ ン グ ）
平 成 28 年 度	第 45 回	玉 置 大 介 （ 陸 上 ）
		平 山 龍 飛 （ ウェイトリフティング ）
		稲 川 瑛 太 （ レ ス リ ン グ ）
平 成 29 年 度	第 46 回	辻 本 幸 翼 （ 陸 上 ）
		林 田 心 （ レ ス リ ン グ ）
		羽 田 創 （ ウェイトリフティング ）
		丹 翔 琉 （ ウェイトリフティング ）
		目 黒 脩 也 （ ウェイトリフティング ）
		上 村 洸 太 （ 柔 道 ）
		垂 又 征 吾 （ 柔 道 ）
		後藤田 柊斗 （ 柔 道 ）
		士別中学校陸上競技部 （ 陸 上 ）
		士別誠心館柔道スポーツ少年団 （ 柔 道 ）

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２８年１０月～平成２９年９月】

第71回国民体育大会*ウェイトリフティング*競技会

１０月１日～５日 岩手県奥州市

澁谷 瑠樹（士別翔雲高）	６９キロ級	４位
齊藤 玄（士別翔雲高）	８５キロ級	８位

内閣総理大臣杯第53回全日本社会人*ウェイトリフティング*競技選手権大会

１１月２０日～２３日 愛媛県新居浜市

大留 義幸（士別市役所）	７７キロ級	２９位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	３２位
古川 敬（士別市役所）	８５キロ級	１４位

第19回全国小学生*カヌートリプル*研修大会

１２月１０日～１１日 大阪府池田市

本間 颯（士別西小６） チーム５位 個人：区間３位

平成28年度全国中学校体育大会 第24回全国中学校駅伝大会

１２月１７日～１８日 滋賀県野州市

士別中学校陸上競技部 ４７位

第21回全国少年少女選抜レスリング選手権大会

３月１１日～１２日 東京都

丸 未永海（士別小６）	小６女子 ４５キロ級	出場
稲川 瑛太（士別小４）	小４男子 ２６キロ級	出場

宮城県知事杯第13回中学生軟式野球春季白石大会

４月１日～２日 宮城県白石市

士別南中学校野球部 ７位

第9回世界*マスターズゲームズ*第33回男子世界*マスターズウェイトリフティング*大会

４月２２日～２７日 ニュージーランド・オークランド

古川 敬（士別市役所） ８５キロ級 ４位

平成29年度沼尻杯第43回全国中学校*レスリング*選手権大会

６月１０日～１１日 茨城県水戸市

丸 未永海（士別中） 中学女子 ４５キロ級 出場

第34回全国少年少女レスリング選手権大会

７月２１日～２３日 福岡県北九州市

目黒 湊大（士別小６）	小６男子 ３２キロ級	出場
稲川 瑛太（士別小５）	小５男子 ２８キロ級	出場

第70回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会

７月２９日～８月２日 山形県天童市

鈴木 大介（士別翔雲高） 男子三段跳び 出場

平成29年度全国高等学校定時制 通信制体育大会 第50回卓球大会

８月１日～３日 東京都

平賀 菜々（士別東高）	出場
平賀 麻衣（士別東高）	出場

全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校*ウェイトリフティング*大会

８月２日～６日 福島県福島市

池田 悠（士別翔雲高）	５６キロ級	３４位
佐藤 晃大（士別翔雲高）	６９キロ級	２６位

平成29年度第14回全国小学生学年別柔道大会

８月６日 札幌市

後藤田 柊斗（上士別５） 小５年男子 ４５キロ級 出場

第35回全日本マスターズ*ウェイトリフティング*競技選手権大会

８月１７日～２０日 新潟県那珂魚沼郡

古川 敬（士別市役所）	８５キロ級	優勝
殿山 拓哉（士別市管工事組合）	６９キロ級	２位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	３位

第44回全日本中学校陸上競技選手権大会

８月１９日～８月２２日 熊本県熊本市

辻本 幸翼（士別中） 男子３０００Ｍ 出場

平成29年度全国中学校体育大会第48回全国中学校柔道大会

８月２２日～２５日 福岡県福岡市

上村 洸太（士別中） 男子５５キロ級 出場

第31回全国中学生*ウェイトリフティング*競技選手権大会

８月２３日～２４日 石川県珠洲市

丹 翔琉（士別南中）	５０キロ級	６位
目黒 脩也（士別南中）	７７キロ級	４位
伊藤 佑悟（士別南中）	９４キロ級	３位
羽田 創（士別南中）	９４キロ級	優勝

第16回全国女子中学生*ウェイトリフティング*競技選手権大会

８月２３日～２４日 石川県珠洲市

中川真優子（士別中） ５８キロ級 ２位

平成２９年度マルちゃん杯 全日本少年柔道大会

９月２４日 東京都足立区

士別誠心館柔道スポーツ少年団 団体戦 ２回戦敗退
（垂又征吾、安達力毅、高瀬斗綺、高瀬綾斗、
熊谷琥白、山本彪雅、安田大翔）

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２７年９月～平成２８年８月】

第71回国民体育大会ウエイトリフティング競技会

９月２７日～１０月１日 和歌山県和歌山市

福本 龍馬（士別翔雲高）	少年の部 94キロ級	3位
寺島 勝也（北ひびき農協）	成年の部 77キロ級	12位

第14回社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会

11月6日～9日 神奈川県平塚市

士別九十九会（士別バレーボール協会）	出場
--------------------	----

内閣総理大臣杯第52回全日本社会人ウエイトリフティング競技選手権大会

11月22日～24日 岩手県奥州市

松田 有矢（士別市役所）	62キロ級	14位
澁谷 翔太（士別市役所）	69キロ級	15位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	77キロ級	22位
佐々木悠輔（士別市役所）	77キロ級	15位
大留 義幸（士別市役所）	77キロ級	20位
古川 敬（士別市役所）	85キロ級	12位

第1回全日本選抜小学生野球選手権三原大会

12月12日～13日 広島県三原市

加藤 泰基（士別九十九野球少年団）	準優勝
前多 信樹（士別南野球少年団）	準優勝

第20回全国少年少女選抜レスリング選手権大会

3月5日～6日 東京都

丸 未永海（士別小5）	36キロ級	3位
-------------	-------	----

第31回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

3月25日～28日 石川県金沢市

澁谷 瑠樹（士別翔雲高）	69キロ級	5位
--------------	-------	----

第18回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選抜大会

7月16日～18日 福岡県北九州市

新井 美咲（士別翔雲高）	63キロ級	14位
--------------	-------	-----

第33回全国少年少女レスリング選手権大会

7月22日～24日 東京都

丸 未永海（士別小）	36キロ級	2位
目黒 湊太（士別南小）	30キロ級	出場
安田 玲央（士別南小）	30キロ級	出場
稲川 瑛太（士別小）	24キロ級	2位
小倉悠之介（士別小）	20キロ級	出場

第30回全国中学校ウエイトリフティング競技選手権大会

7月30日～31日 福島県いわき市

平山 龍飛（士別南中）	69キロ級	3位
-------------	-------	----

全国高等学校定時制通信制体育大会 第49回卓球大会

8月2日～4日 東京都

平賀 菜々（士別東高）	出場
-------------	----

平賀 麻衣（士別東高）	出場
-------------	----

全国高等学校総合体育大会

第63回全国高等学校ウエイトリフティング大会

8月4日～8日 岡山県笠岡市

池田 悠（士別翔雲高）	53キロ級	25位
澁谷 瑠樹（士別翔雲高）	69キロ級	出場
齊藤 玄（士別翔雲高）	85キロ級	22位

全国中学校体育大会

第43回全日本中学校陸上競技選手権大会

8月21日～24日 長野県松本市

玉置 大介（上士別中）	棒高跳び	出場
-------------	------	----

全国官公庁野球連盟第67回中央大会

8月21日～25日 東京都

士別市役所	出場
-------	----

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２６年１０月～平成２７年８月】

第69回国民体育大会ウエイトリフティング競技会

１０月１３日～１７日 長崎県諫早市

二階堂功輝（士別翔雲高）	８５キロ級	４位
若松 慎也（瀬野鉄工所）	７７キロ級	１６位

内閣総理大臣杯第51回全日本社会人ウエイトリフティング*競技選手権大会

１１月２２日～２４日 和歌山県和歌山市

松田 有矢（士別市教育委員会）	６２キロ級	出場
澁谷 翔太（士別市役所）	６９キロ級	１８位
寺島 勝也（北ひびき農業協同組合）	７７キロ級	１３位
古川 敬（士別市役所）	７７キロ級	２４位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	２８位
佐々木悠輔（士別市役所）	７７キロ級	出場
大留 義幸（士別市役所）	８５キロ級	２１位

第3回西日本県選抜学童軟式野球選手権大会

１２月１３日～１４日 広島県三原市

田口 湧大（士別南野球少年団）	出場
-----------------	----

第52回全国中学校スキー大会

２月５日～８日 青森県大鰐町

笠羽 竜平（多寄中）	大回転	３３位
広田 静空（士別南中）	大回転	６位

第64回全国高等学校スキー大会

２月６日～１０日 秋田県鹿角市

堀 陽汰（士別翔雲高）	回転	５４位
-------------	----	-----

第30回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

３月２６日～２９日 石川県金沢市

澁谷 瑠樹（士別翔雲高）	６９キロ級	１０位
福本 龍馬（士別翔雲高）	９４キロ級	２位

第13回東北中学校選抜野球大会

３月１４日～１５日 宮城県仙台市

野村 彪雅（士別南中）	リーグ準決勝敗退
吉田 将伍（士別南中）	リーグ準決勝敗退

第33回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会

５月１４日～１７日 秋田県三種町

古川 敬（士別市役所）	８５キロ級	３位
-------------	-------	----

第17回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

７月１８日～２０日 愛媛県新居浜市

田川 美空（士別翔雲高）	５３キロ級	３６位
--------------	-------	-----

第32回全国少年少女レスリング選手権大会

７月２４日～２６日 東京都

丸 未永海（士別小５）	３３キロ級	２位
稲川 瑛太（士別小３）	２４キロ級	出場

第62回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会

８月２日～５日 兵庫県明石市

澁谷 瑠樹（士別翔雲高）	６９キロ級	１２位
福本 龍馬（士別翔雲高）	９４キロ級	５位
山本 拓也（士別翔雲高）	１０５キロ級	２０位

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会

８月１８日～２１日 札幌市

玉置 大介（上士別中）	棒高跳び	出場
-------------	------	----

第29回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権

８月１９ 福井県小浜市

佐藤 晃大（士別南中）	６２キロ級	５位
-------------	-------	----

日清カップ 第31回全国小学生陸上競技交流大会

８月２１日～２２日 神奈川県横浜市

布目 朱理（士別小６）	走り高跳び	出場
-------------	-------	----

全国・国際大会出場選手紹介

【平成25年10月～平成26年8月】

第12回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会

10月11日～14日 福井県福井市

士別九十九会 出場

内閣総理大臣杯第50回全日本社会人ウェイトリフティング*競技選手権大会

11月23日～25日 長崎県諫早市

松田 有矢（士別市教育委員会） 62キロ級 11位

古川 敬（士別市立病院） 77キロ級 22位

佐藤 貴幸（士別市立病院） 77キロ級 29位

大留 義幸（士別市役所） 85キロ級 18位

2013年度第2回軟式野球U-15亜細亞選手権大会

11月25日～29日 中華民国台湾 嘉義縣

光永雅晴（士別中教諭）

小倉昇大、後藤田涼（士別中）、吉田良太（士別南中）

北海道選抜 優勝

第19回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

1月19日 広島県広島市

伊藤 洋平（士別中） 出場

平成25年度全国中学校体育大会第51回全国中学校スキー大会

2月2日～5日 群馬県スノーパーク尾瀬戸倉

笠羽 竜平（多寄中） 大回転 出場

第34回全日本ジュニアウェイトリフティング選手権大会

3月14日～16日 栃木県小山氏

澁谷 瑠樹（士別南中） 62キロ級 10位

第29回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会

3月24日～28日 石川県金沢市

二階堂功輝（士別翔雲高） 85キロ級 優勝

第16回全国高等学校女子ウェイトリフティング競技選手権大会

7月18日～20日 広島県府中市

田川 美空（士別翔雲高） 48キロ級 23位

第67回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会

7月30日～8月3日 山梨県甲府市

鎌田聖也（士別翔雲高） 男子ハンマー投げ 出場

第61回全国高等学校ウェイトリフティング競技選手権大会

8月2日～5日 山梨県山梨市

安藤 虎憲（士別翔雲高） 56キロ級 17位

澁谷 享祐（士別翔雲高） 62キロ級 22位

澁谷 瑠樹（士別翔雲高） 69キロ級 21位

二階堂功輝（士別翔雲高） 85キロ級 5位

福本 龍馬（士別翔雲高） 94キロ級 19位

第39回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

8月8日～10日 大阪府泉南群熊取町

村椿 朋弥（士別翔雲高） 出場

第32回全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会

8月15日～17日 兵庫県明石市

古川 敬（士別市立病院） 77キロ級 2位

平成26年度官公庁野球連盟第65回中央大会

8月17日～21日 東京都

士別市役所チーム 出場

第22回日韓中ジュニア交流大会

8月24日～28日 岩手県奥州市

二階堂功輝（士別翔雲高校） 85キロ級 出場

全国・国際大会出場選手紹介

【平成24年10月～平成25年8月】

第67回国民体育大会ウェイトリフティング大会

10月6日～8日 岐阜県土岐市

中川 洋平（土別翔雲高）	62キロ級	5位
若松 慎也（土別翔雲高）	69キロ級	2位

第11回全国社会人9人制バレーボール東ブロック男女優勝大会

10月11日～14日 愛知県一宮市

土別九十九会	出場
--------	----

第17回アジアマスターズ陸上競技選手権大会

11月2日～7日 台湾台北市

遠藤 敦志（土別中学校教諭）	M35 800M	優勝
----------------	----------	----

内閣総理大臣杯第49回全日本社会人ウェイトリフティング競技選手権大会

11月23日～25日 東京都国立市

佐久間 亘（土別市役所）	62キロ級	7位
松田 有矢（土別市教育委員会）	69キロ級	17位
古川 敬（土別市立病院）	77キロ級	16位
澁谷 翔太（土別市役所）	77キロ級	27位
佐藤 貴幸（土別市立病院）	77キロ級	29位
大留 義幸（土別市役所）	85キロ級	19位
遠藤 将隆（萩尾ボデー工業）	94キロ級	20位
佐々木敏彦（土別東高校教諭）	94キロ級	出場

2012年度第1回「KENKO」U-15軟式野球アジア選手権大会

12月5日～7日 台湾嘉義市

堀内 豊勝（土別南中）	優勝
-------------	----

第6回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

2月20日～24日 長野県軽井沢町

佐々木 憲也（土別市役所）	4位
佐々木 ミカ	

第31回全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会

5月17日～19日 青森県八戸市

佐々木敏彦（土別東高校教諭）	M50 94キロ級	優勝
古川 敬（土別市立病院）	M40 77キロ級	2位

第66回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

7月30日～8月3日 大分県大分市

吉田 祐輔（土別翔雲高）	棒高跳び	出場
佐々木 悠（土別翔雲高）	やり投	出場

第60回全国高等学校ウェイトリフティング競技選手権大会

8月3日～6日 長崎県諫早市

安藤 虎憲（土別翔雲高）	56キロ級	20位
澁谷 享祐（土別翔雲高）	62キロ級	22位
佐々木祐輔（土別翔雲高）	69キロ級	25位
二階堂功輝（土別翔雲高）	85キロ級	12位
及川 笑太（土別翔雲高）	94キロ級	21位

第7回世界マスターズゲームズ

（第29回男子世界マスターズウェイトリフティング選手権大会）

8月3日～10日 イタリア・トリノ

古川 敬（土別市立病院）	M40 77キロ級	4位
--------------	-----------	----

第2回アジアユースゲームズ ウェイトリフティング競技

8月16日～24日 中国南京市

澁谷 瑠樹（土別南中）	56キロ級	8位
-------------	-------	----

第40回全国中学校陸上競技選手権大会

8月19日～22日 愛知県 名古屋市

玉置 広伸（上土別中）	棒高跳び	3位
-------------	------	----

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２３年１０月～平成２４年９月】

第66回国民体育大会ウェイトリフティング大会

１０月８日～１０日 山口県下関市

中川 洋平（士別翔雲高）	６２キロ級	８位
若松 慎也（士別翔雲高）	６９キロ級	８位

内閣総理大臣杯第48回全日本社会人ウェイトリフティング*競技選手権大会

１１月１８日～２０日 岐阜県土岐市

古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	１７位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	２５位
大留 義幸（士別市役所）	８５キロ級	１７位
佐々木敏彦（士別東高校教諭）	９４キロ級	１７位

全国高等学校総合体育大会第61回全国高等学校スキー大会

１月３０日～２月３日 山形県山形市

中村 光（士別翔雲高）	大回転 １１６位	回転 ７６位
-------------	----------	--------

全国中学校体育大会第49回全国中学校スキー競技大会

２月２日～３日 宮城県蔵王町

後藤 悠史（多寄中）	大回転 １２位	回転 ２６位
------------	---------	--------

第5回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

２月２９日～３月４日 北見市常呂町

佐々木 憲也（士別市役所）	３位
佐々木 ミカ	

第13回全国中学生軟式野球大会

３月１７日（土）～１８日 千葉県柏市

士別中学校野球部	出場
----------	----

文部科学大臣杯第3回全日本少年春季軟式野球大会

３月２３日～２６日 静岡県沼津市

士別南中学校野球部	出場
-----------	----

第27回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会

３月２５日～２７日 石川県金沢市

北岡 喜基（士別翔雲高）	５３キロ級	２位
中川 洋平（士別翔雲高）	６２キロ級	１０位
若松 慎也（士別翔雲高）	６９キロ級	２位

第22回インゲマルトロフィー2012

４月１３日～１５日 スウェーデン

後藤 悠史（多寄中学校）	G S ３位	S L ５位
--------------	--------	--------

第26回全国男子中学生ウェイトリフティング選手権大会

７月２８日 和歌山県和歌山市

澁谷 瑠樹（士別南中）	５６キロ級	優勝
-------------	-------	----

第59回全国高等学校ウェイトリフティング競技選手権大会

８月２日～５日 石川県珠洲市

北岡 喜基（士別翔雲高）	５３キロ級	７位
中川 洋平（士別翔雲高）	６２キロ級	５位
若松 慎也（士別翔雲高）	６９キロ級	２位

日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

８月１６日～２１日 中国北京市

三和 拓蒼（士別中）	出場
------------	----

全国官公庁野球連盟第63回中央大会

８月１９日～２３日 東京都八王子市

士別市役所野球部	出場
----------	----

第30回全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会

８月３１日～９月２日 大阪府羽曳野市

佐々木敏彦（士別東高校教諭）	M 5 0 ９４キロ級	優勝
古川 敬（士別市立病院）	M 4 0 ７７キロ級	２位

全国・国際大会出場選手紹介

【平成22年3月～平成23年8月】

JOCジュニアオリンピックカップ 兼2010全日本ジュニアスキー選手権大会		
3月8日～3月10日 山形県蔵王温泉スキー場		
小野 桃夏	女子大回転	34位
	女子回転	30位

第22回全国高等学校選抜スキー大会		
3月19日～3月22日 北海道富良野市		
高橋 克也（士別翔雲高）	男子大回転	出場
	男子回転	出場

ウィスラーカップ2010		
4月9日～11日 カナダ		
後藤 悠史（多寄小）	KOMB I	6位
	大回転	5位
	回転	11位

第65回国民体育大会ウエイトリフティング競技会		
10月2日～4日 千葉県八千代市		
松田 有矢（士別翔雲高）	62キロ級	出場

全日本卓球選手権大会		
11月12日～14日 大阪府大阪市		
菅原 義満（士別卓球協会）	マスターズの部男子シングルス出場	

平成22年度全日本卓球選手権大会（カデットの部）		
11月19日～21日 岩手県花巻市		
三和 拓蒼（士別中）	出場	

第47回全日本社会人ウエイトリフティング競技選手権大会		
11月19日～21日 山口県下関市		
佐藤 貴幸（士別市立病院）	77キロ級	25位
古川 敬（士別市立病院）	77キロ級	18位
大留 義幸（士別市役所）	85キロ級	20位

第60回全国高等学校スキー大会		
2月6日～10日 岩手県八幡平市		
中村 光（士別翔雲高）	女子大回転	59位
	女子回転	39位

第48回全国中学校スキー大会		
2月7日～10日 福島県猪苗代町		
矢萩 瑞奎（士別中）	クロスントリー-3kmフリー	35位

全農第28回日本カーリング選手権大会		
2月8日～13日 北海道名寄市		
士別市役所カーリングチーム	男子の部	2位

全日本選手権ジュニアスキー選手権大会		
3月9日～11日 新潟県妙高市		
矢萩 瑞奎（士別中）	クロスントリー-5kmフリー	40位
西村 尚真（士別中）	クロスントリー-10kmフリー	27位

第23回全国高等学校選抜スキー大会		
3月10日～13日 北海道富良野市		
中村 光（士別翔雲高）	震災の影響で大会中止	

第29回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会		
6月10日～12日 岡山県倉敷市		
古川 敬（士別市立病院）	85キロ級	3位

第58回全国高等学校ウエイトリフティング選手権大会		
8月3日～6日 岩手県奥州市		
北岡 喜基（士別翔雲高）	53キロ級	19位
中川 洋平（士別翔雲高）	62キロ級	出場
若松 慎也（士別翔雲高）	69キロ級	出場

第36回全国高等学校トランポリン競技選手権大会		
8月5日～8月7日 北海道釧路市		
今井 美奈（士別翔雲高）	出場	
筑間 友久（士別翔雲高）	出場	

第25全国男子中学生ウエイトリフティング選手権大会		
8月18日 福岡県北九州市		
澁谷 瑠樹（士別南中）	56キロ級	3位
澁谷 享祐（士別南中）	62キロ級	3位

全国官公庁野球連盟第62回中央大会		
8月21日～25日 東京都大田スタジアム		
士別市役所野球部	3回戦敗退（ベスト16）	

第32回全日本マスターズ陸上競技選手権大会		
8月26日～28日 和歌山県紀三井寺競技場		
遠藤 敦志（士別中学校教員）		
男子M35クラス	800M	優勝（大会新）
	1500M	2位

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２１年７月～平成２２年２月】

第27回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会

７月２４日～２６日 神奈川県藤沢市

古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	３位
栗原 善一（士別市立病院）	６９キロ級	３位

第62回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

７月２９日～８月２日 奈良県奈良市

中川 康太（士別翔雲高）	男子走幅跳	出場
野口 卓郎（士別翔雲高）	男子棒高跳	出場
岡 龍司（士別翔雲高）	男子八種競技	３０位
士別翔雲高（小島・古瀧・半田・谷口）	４×１００Ｍリレー	出場

第34回全日本高等学校トランポリン競技選手権大会

７月３１日～８月２日 埼玉県越谷市

今井 美奈（士別翔雲高）	女子の部 個人	２６位
--------------	---------	-----

第56回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

８月８日～１２日 奈良県橿原市

松田 有矢（士別翔雲高）	６２キロ級	４２位
寺島 勝也（士別翔雲高）	６９キロ級	３４位

第49回全国中学校水泳競技大会

８月８日～１２日 福岡県福岡市

小野 寺美奈（士別中）	競泳女子１００Ｍ背泳ぎ	１２位
	競泳女子２００Ｍ背泳ぎ	１８位

全国官公庁野球連盟 第60回中央大会

８月２３日～２７日 東京都 大田スタジアム

士別市役所野球部	出場
----------	----

第32回全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会

８月２５日～３０日 東京都

小野 寺美奈（士別中）	競泳女子１００Ｍ背泳ぎ	２０位
	競泳女子２００Ｍ背泳ぎ	２９位

第22回全国健康福祉祭北海道・札幌大会

ねんりんピック北海道2009弓道交流大会

９月５日～７日 北海道北見市留辺蘂町

梅田 誠（士別弓道会）	北海道代表団	出場
-------------	--------	----

2009 IWF世界マスターズウエイトリフティング選手権大会

１０月１０日～１７日 オーストラリア シドニー

７７キロ級	古川 敬（士別市立病院）	３位
９４キロ級	佐々木敏彦（士別東高校教諭）	優勝

第22回スポーツレクリエーションマスターズ陸上競技

１０月１８日～２０日 宮崎県宮崎市

高山 道恵（士別陸上競技協会）	女子50～54歳 800M	２位
	1500M	２位
	4×100Mリレー	３位

平成21年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）

１０月３０日～１１月１日 山口県岩国市

山地 勝（士別卓球協会）	８５歳以上男子シングルス	出場
--------------	--------------	----

内閣総理大臣杯第46回全日本社会人ウエイトリフティング競技選手権大会

１１月２１日～２３日 千葉県八千代市

古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	１４位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	２２位
大留 義幸（士別市役所）	８５キロ級	１３位
佐々木敏彦（士別東高校教諭）	８５キロ級	２２位
遠藤 将隆（萩尾ボデー）	８５キロ級	２１位

第3回ミックスダブルスカーリング選手権大会

１２月１８日～２３日 青森県青森市

佐々木 憲也（士別市役所）	５位
佐々木 ミカ	

第23回全国都道府県対抗中学校バレーボール大会

１２月２５日～２８日 大阪府大阪市

馬田 よしの（北海道選抜）	決勝トーナメント出場
---------------	------------

第59回全国高等学校スキー大会

２月２日～６日 札幌市白旗山クロスカントリーコース

小笠原克真（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場
竹内 良輔（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場
精進 祐介（士別翔雲高）	クラシカル10km	出場
リレー（小笠原・精進（順）・精進（祐）・竹内）		２５位

第59回全国高等学校スキー大会

２月２日～８日 北海道富良野市

高橋 克也（士別翔雲高）	男子大回転	出場
中村 光（士別翔雲高）	女子大回転・回転	出場

全国・国際大会出場選手紹介

【平成２０年７月～平成２１年３月】

第61回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

７月２９日～８月２日 埼玉県熊谷市

皆川 遼（士別翔雲高）	男子４００MH	出場
野口 卓郎（士別翔雲高）	男子棒高跳	出場
岡 龍司（士別翔雲高）	男子八種競技	出場

第55回全国高等学校ウエトリフティング競技選抜大会

８月４日～８日 埼玉県さいたま市

村角 謙二（士別翔雲高）	５６キロ級	９位
寺島慎太郎（士別翔雲高）	６２キロ級	出場

第35回全日本中学校陸上競技選手権大会

８月１８日～２１日 新潟県新潟市

小椋 裕介（士別中）	男子	出場
	男子３０００M	１８位

第76回日本高校選手権水泳競技大会

８月１７日～２１日 埼玉県川口市

田中 幹大（士別翔雲高）	自由形１５００M	出場
--------------	----------	----

全国官公庁野球連盟 第59回中央大会

８月１７日～２１日 東京都 大田スタジアム

士別市役所野球部	出場
----------	----

第22回全国男子中学生ウエトリフティング競技選手権大会

８月２４日 京都府京都市

寺島 勝也（士別南中）	６３キロ級	優勝
澁谷 翔太（士別南中）	６９キロ級	３位

第63回国民体育大会ウエトリフティング競技会

１０月２日～７日 大分県国東市

村角 謙二（士別翔雲高）	５６キロ級	出場
--------------	-------	----

第21回全国スポーツレクリエーション祭 壮年サッカー

１０月１９日～２１日 滋賀県湖南市

吉倉 司（サフォークランド士別サッカークラブ）	Fグループリーグ	２位
-------------------------	----------	----

第21回全国スポーツレクリエーション祭 マスターズ陸上競技

１０月１９日～２１日 滋賀県大津市

高山 道恵（士別陸上競技協会）	女子50～54歳 800M	２位
	1500M	５位
	4×100Mリレー	５位
	混合スウェーデンリレー	６位

第39回ジュニアオリンピック陸上競技大会

１０月２４日～２６日 神奈川県 日産スタジアム

小椋 裕介（士別中）	男子A３０００M	出場
------------	----------	----

第26回全日本マスターズウエトリフティング競技選手権大会

１０月２５日～２６日 岩手県奥州市

古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	３位
佐々木敏彦（士別東高校教諭）	８５キロ級	優勝
本間 税（士別市立病院）	９４キロ級	２位

第21回全国健康福祉祭かごしま大会

ねんりんピック鹿児島2008弓道交流大会

１０月２５日～２７日 鹿児島県薩摩川内市

梅田 誠（士別弓道会）	北海道代表団	優勝
	個人	敢闘賞

平成20年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）

１１月７日～１１月９日 香川県坂出市

山地 勝（士別卓球協会）	８５歳以上男子シングルス	出場
--------------	--------------	----

内閣総理大臣杯第45回全日本社会人ウエトリフティング競技選手権大会

１１月２１日～２４日 新潟県三条市

古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	１４位
佐藤 貴幸（士別市立病院）	７７キロ級	２４位
大留 義幸（士別市役所）	８５キロ級	１４位
佐々木敏彦（士別東高校教諭）	８５キロ級	２０位

第14回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

１月１８日 広島県広島市

小椋 裕介（士別中）	北海道４０位（２区 区間２位）
------------	-----------------

第58回全国高等学校スキー大会

２月２日～６日 長野県白馬村

小笠原克真（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場
精進 祐介（士別翔雲高）	クラシカル10km	出場
精進 順介（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km	出場
竹内 良輔（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場
リレー（小笠原・精進（順）・精進（祐）・竹内）		２０位

JOCジュニアオリンピックカップ2009全日本ジュニアスキー選手権大会

３月１１日～１３日 新潟県池の平白樺クロスカントリースキー場

小笠原克真（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場
竹内 良輔（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km	出場

JOCジュニアオリンピックカップ2009兼全日本中学生選抜スキー大会

３月１７日～１９日 山形県蔵王温泉スキー場

吉原 眞子（士別中）	女子大回転	１６位
	女子回転	３位

第21回全国高等学校選抜スキー大会

３月１９日～２２日 富良野市

高橋 克弥（士別高）	男子大回転・回転	出場
半田 拓也（士別翔雲高）	男子大回転・回転	出場

全国・国際大会出場選手紹介

【平成１９年１０月～平成２０年３月】

第24回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会

５月１９日～２０日	岩手県奥州市		
７７キロ級	古川 敬（士別市立病院）	３位	
９４キロ級	本間 税（士別市立病院）	２位	

第60回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

８月２日～６日	佐賀県佐賀市		
吉田 江里（士別高）	女子１５００Ｍ	出場	

第32回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

８月３日～５日	福島県須賀川市		
池田 彩（士別東高）		出場	

第54回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

８月４日～７日	佐賀県有田町		
寺島慎太郎（士別高）	６２キロ級	３３位	

全国官公庁野球連盟 第58回中央大会

８月１９日～２３日	東京都 大田スタジアム		
士別市役所野球部		出場	

第1回東日本ミズノ杯実年ソフトボール大会

８月２５日～２６日	群馬県館林市		
士別クラブ実年		出場	

第21回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

８月２５日～２６日	大阪府羽曳野市		
寺島 勝也（士別南中）	５８キロ級	２位	
澁谷 翔太（士別南中）	５８キロ級	３位	

第23回世界マスターズウエイトリフティング選手権大会

８月２５日～９月１日	ハンガリー	ガジンパルチカ	
本間 税（士別市立病院）	９４キロ級	１２位	

第62回国民体育大会ウエイトリフティング競技会

９月３０日～１０月３日	秋田県八郎潟町		
村角 謙二（士別高）	５６キロ級	９位	

平成19年度全日本卓球選手権大会（マスターズの部）

１１月９日～１１月１１日	埼玉県越谷市		
山地 勝（士別卓球協会）	８５歳以上男子シングルス	出場	

内閣総理大臣杯第45回全日本社会人ウエイトリフティング競技選手権大会

１１月２１日～２４日	新潟県三条市		
古川 敬（士別市立病院）	７７キロ級	６位	
佐藤 貴幸（士別市立病院）	６９キロ級	１６位	
大留 義幸（士別市役所）	８５キロ級	出場	
佐々木敏彦（士別東高校教諭）	８５キロ級	出場	
出合 正和（トヨタ自動車）	８５キロ級	１１位	

第13回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

１月２０日	広島県広島市		
小椋 裕介（士別中）		出場	

第57回全国高等学校スキー大会

２月６日～９日	新潟県湯沢町		
小笠原克真（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場	
精進 祐介（士別翔雲高）	クラシカル10km	出場	
精進 順介（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km	出場	
リレー（小笠原・精進（順）・精進（祐）・竹内）		２５位	

第25回日本カーリング選手権大会

２月６日～１１日	長野県軽井沢町		
工藤博文・林秀忠・藪中晃宏・喜多伸光・秋元利文		４位	

JOCジュニアオリンピックカップ2008全日本ジュニアスキー選手権大会

３月１１日～１４日	新潟県妙高スキー場		
小笠原克真（士別翔雲高）	ノルディックフリー15km・クラシカル10km	出場	

JOCジュニアオリンピックカップ2008兼全日本中学生選抜スキー大会

３月１７日～１９日	山形県蔵王温泉スキー場		
吉原 眞子（士別中）	女子大回転	７位	回転４位
高橋 克弥（朝日中）	男子大回転	６位	回転２３位

第20回全国高等学校選抜スキー大会

３月２０日～２３日	富良野市		
半田 拓也（士別翔雲高）	男子回転	４３位	
高橋 幸希（士別高）	男子回転	３５位	
	男子スーパー大回転	７０位	

資料編

一般財団法人士別市体育協会定款

平成22年3月19日 北海道知事認可

目 次

第1章	総 則（第1条・第2条）
第2章	目的及び事業（第3条・第4条）
第3章	資産及び会計（第5条～第8条）
第4章	加盟団体（第9条～第11条）
第5章	評 議 員（第12条～第15条）
第6章	評議員会（第16条～第21条）
第7章	役 員（第22条～第30条）
第8章	理 事 会（第31条～第35条）
第9章	士別スポーツ少年団本部（第36条）
第10章	委 員 会（第37条～第38条）
第11章	保存基準（第39条）
第12章	定款の変更及び解散（第40条～第43条）
第13章	公告の方法（第44条）
附 則	

第1章 総 則

（名 称）

第1条 この法人は、一般財団法人士別市体育協会と称する。

（事 務 所）

第2条 この法人は、主たる事務所を北海道士別市に置く。

第2章 目的及び事業

（目 的）

第3条 この法人は、士別市内のスポーツ団体を統轄するとともに、士別市のスポーツ振興に関する事業を行い、もって市民の体力の向上とスポーツ精神の普及に寄与することを目的とする。

（事 業）

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 各種スポーツ大会の開催、スポーツ教室の開設及び市民スポーツの振興
- (2) 総合型地域スポーツクラブの普及
- (3) 競技力の向上及びスポーツ指導者の養成等の普及
- (4) スポーツに関する調査研究及び情報提供を行う等、市民スポーツの推進
- (5) スポーツ少年団の育成
- (6) スポーツ功労者等の表彰
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 国債及び定期預金等の基本財産については、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。その一部を処分しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第4号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

第4章 加盟団体

(加盟団体)

第9条 この法人は、次のスポーツ団体を加盟団体とする。

- (1) 士別市におけるアマチュア・スポーツを各競技別に統轄する団体
- (2) 士別市におけるアマチュア・スポーツを総合的に統轄する団体

(加入・脱退)

第10条 加盟団体の加入及び脱退は、理事会の決議及び評議員会の承認を得て決定する。

(負担金等)

第11条 加盟団体は、毎事業年度、理事会の決議によって定める負担金等を納めなければならない。

2 加盟団体がこの法人に納めた負担金等は、脱退又は除名の場合においても返還しない。

第5章 評議員

(評議員の定数)

第12条 この法人に、評議員12名以上14名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第13条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会において行う。

- 2 評議員選定委員会は、評議員1名、監事1名及び次項の定めに基づいて選任された外部委員3名の合計5名で構成する。
- 3 評議員選定委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。
 - (1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人
 - (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
 - (3) 第1号又は第2号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）
- 4 評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。評議員選定委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 5 評議員選定委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
 - (1) 当該候補者の経歴
 - (2) 当該候補者を候補者とした理由
 - (3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係
 - (4) 当該候補者の兼職状況
- 6 評議員選定委員会の決議は、委員会の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の2名以上が出席し、かつ、外部委員の2名以上が賛成することを要する。
- 7 評議員選定委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。
- 8 前項の場合には、評議員選定委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。
 - (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
 - (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
 - (3) 同一の評議員（2人以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2人以上の評議員）につき2人以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位
- 9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。
- 10 評議員は、この法人の理事、監事又は使用人を兼ねることができない。

(評議員の任期)

第14条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。
- 3 評議員は、第12条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第15条 評議員の報酬は、無報酬とする。

第6章 評議員会

(構成)

第16条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

2 この定款に定めるもののほか、評議員会運営の詳細にわたる必要事項は、別に規程で定める。

(権限)

第17条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (3) 定款の変更
- (4) 残余財産の処分
- (5) 長期借入金の借入
- (6) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第18条 評議員会は、定時評議員会として毎年度4月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第19条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 評議員は、会長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第20条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) 残余財産の処分
- (4) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第21条 評議員会の議事録については、議長及び出席した評議員のうち議事録署名人に選出された2名が議事録に記名押印し作成する。

第7章 役員

(役員の設定)

第22条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事11名以上13名以内
- (2) 監事2名以内

2 理事のうち1名を会長、3名を副会長とする。

3 前項の会長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第23条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 会長及び副会長は、事業年度毎に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第25条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4 理事又は監事は、第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第27条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第28条 理事及び監事は、無報酬とする。

(名誉顧問)

第29条 この法人に、1名の名誉顧問を置くことができる。

2 名誉顧問は、理事会の議決により推挙し、会長が任命する。

3 名誉顧問は、会長の求めに応じ、この法人の重要案件にかかわる相談に応じることができる。

4 名誉顧問の報酬は無償とする。

(顧問)

第30条 この法人に、6名以内の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の議決により推挙し、会長が任命する。
- 3 顧問は、会長の求めに応じ、この法人の事業全般にわたり参考意見を述べることができる。
- 4 顧問の報酬は無償とする。

第8章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

- 2 この定款に定めるもののほか理事会運営の詳細にわたる必要事項は別に規程で定める。

(権限)

第32条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長及び副会長の選定及び解職

(招集)

第33条 理事会は、会長が招集する。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条の要件を満たしたときは理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第35条 理事会の議事録については、出席した会長及び監事が、議事録に記名押印し作成する。

第9章 士別スポーツ少年団本部

第36条 この法人には、市内のスポーツ少年団によって構成する士別スポーツ少年団本部を置き、士別スポーツ少年団本部に関する規定は理事会において定める。

第10章 委員会

(常設の委員会)

第37条 この法人には、次の委員会を置く。

- (1) 本市の各競技選手の育成強化を図るとともに、広く競技力水準の向上を図ることを目的とした競技力向上委員会、12名以内
 - (2) 本市の各種スポーツの普及振興を図ることを目的とした普及委員会、12名以内
 - (3) 本法人の業務に関し総合調整を図ることを目的とした総務委員会、13名以内
- 2 各委員会に関し必要な事項は、理事会において定める。

(臨時の委員会)

第38条 この法人には、必要に応じ、臨時に委員会を置くことができる。

2 臨時の委員会に関し必要な事項は、理事会において定める。

第11章 保存基準

(書類帳簿の備付け等)

第39条 この法人の事務所に、次の各号に掲げる書類及び帳簿を備え、当該各号に定める期間これを保存しなければならない。

(1) 認可に関する書類	永	年
(2) 定款及びその変更に関する書類	永	年
(3) 登記に関する書類	永	年
(4) 役員名簿及び評議員名簿	永	年
(5) 理事会及び評議員会の議事録	永	年
(6) 監事の職務執行に関する書類	永	年
(7) 北海道庁及び士別市との往復文書	10	年
(8) その他必要な書類	10	年

第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第40条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第13条についても適用する。

(解 散)

第41条 この法人は、法令で定められた事由によって解散する。

(剰余金の分配)

第42条 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

(残余財産の帰属)

第43条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17条に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公告の方法

第44条 この法人の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。

2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第121条第1項において読み替えて準用する同法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、一般法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の会長は、神田 英一とする。

4 この法人の最初の理事、監事は、次に掲げる者とする。

佐藤 元信（副会長）

大森 智（副会長）

佐々木文男（副会長）

上野 暉

氏家 洋一

生方 輝喜

太田 雄三

鈴木 繁幸

鷲見 謙一

土岐 浩二

森 政勝

吉倉 司

石川 和則（監事）

梅田 誠（監事）

5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石川ひとみ

市村 慎二

伊藤 洋樹

大杉 育功

小野田 勝

斉藤 昇

佐々木博文

佐々木幹夫

玉置 準一

殿山 拓哉

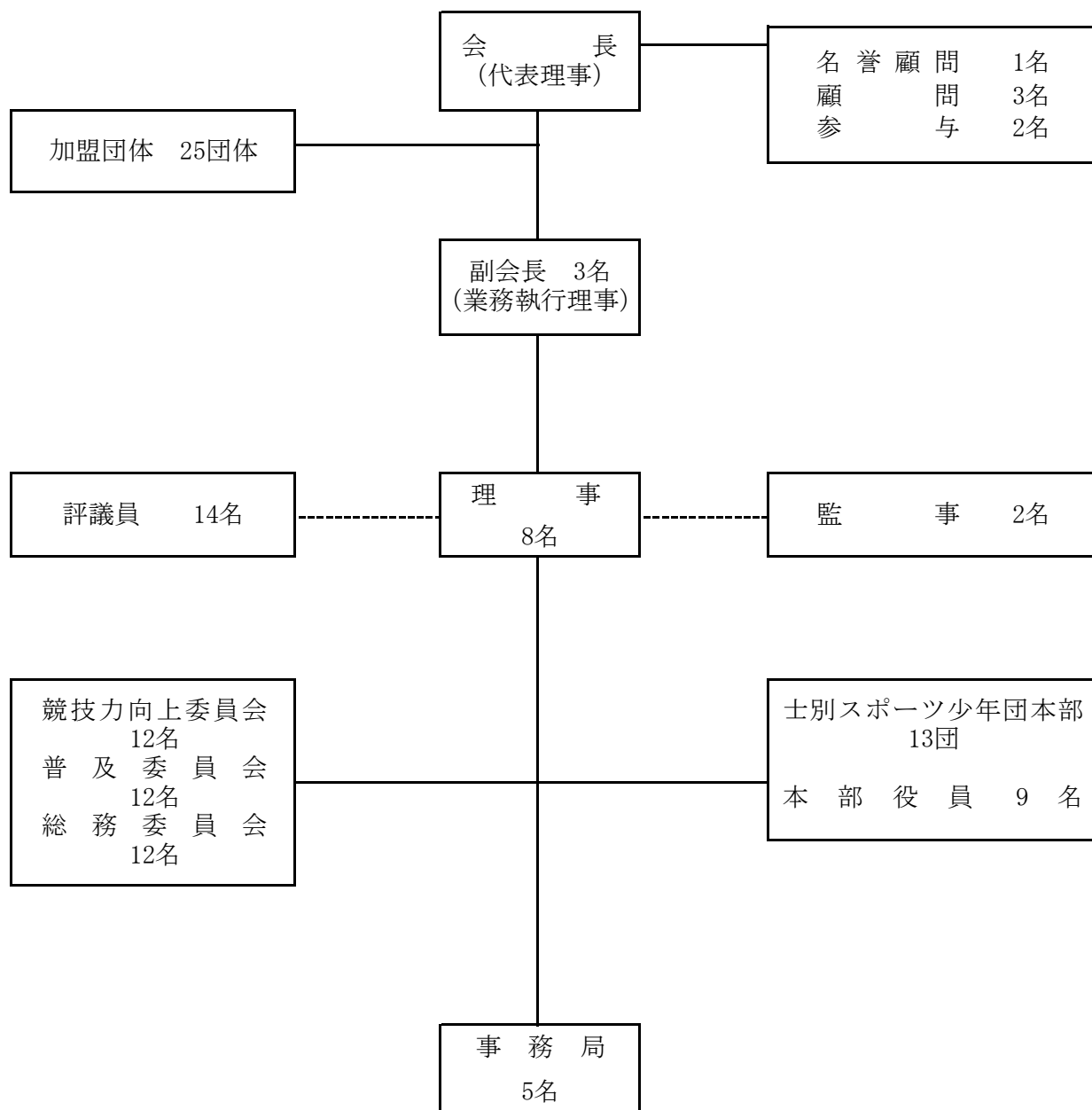
中舘 圭司

沼田 健一

堀崎 栄

森 三千利

一般財団法人士別市体育協会組織図



加 盟 団 体

(平成29年度)

加盟団体名	会長名	設立年月日	体協加盟年月日	会員数
士別軟式野球連盟	瀧上敬司	昭和23年4月1日	昭和32年12月3日	405名
士別剣道連盟	小林一男	昭和27年4月1日	昭和32年12月3日	24名
士別柔道連盟	高橋弘暢	昭和32年4月1日	昭和32年12月3日	56名
士別相撲連盟	斉藤昇	昭和21年4月1日	昭和45年4月1日	12名
士別空手道連盟	富田強	昭和50年4月1日	昭和50年4月17日	38名
士別ソフトテニス連盟	藤田功	昭和24年7月1日	昭和32年12月3日	18名
士別陸上競技協会	氏家洋一	昭和22年9月8日	昭和32年12月3日	77名
士別卓球協会	澤本一夫	昭和22年5月1日	昭和33年12月1日	50名
士別水泳協会	北口雄幸	昭和45年7月1日	昭和45年9月1日	13名
士別弓道会	梅田誠	昭和7年9月4日	昭和32年7月1日	51名
士別スキー協会	小野典男	昭和7年10月1日	昭和33年12月1日	50名
士別バドミントン協会	早坂文明	昭和33年4月1日	昭和34年4月1日	20名
士別バレーボール協会	神田英一	昭和35年4月1日	昭和45年4月1日	50名
士別バスケットボール協会	伊藤公志	昭和35年4月1日	昭和35年4月1日	131名
士別サイクリング協会	日下進	昭和47年4月6日	昭和47年9月1日	24名
士別ソフトボール協会	遠山昭二	昭和49年6月1日	昭和50年4月17日	84名
士別レスリング協会	菅原信一	昭和52年8月17日	昭和53年4月21日	47名
士別ウエイトリフティング協会	岡田晃	昭和47年4月1日	昭和54年4月19日	43名
上士別体育協会	渡辺亨	昭和25年8月1日	昭和32年12月3日	480名
多寄体育協会	佐々木文男	昭和31年10月10日	昭和32年12月3日	1,160名
士別カーリング協会	土岐浩二	昭和55年3月2日	昭和56年4月22日	114名
士別テニス協会	佐藤元信	昭和54年10月1日	昭和57年6月17日	73名
士別トランポリン協会	菅原勝司	昭和55年4月1日	平成5年4月1日	34名
サフオーランド士別サッカークラブ	三野一寿	平成3年5月22日	平成19年4月1日	111名
士別ゴルフ協会	佐々木元晴	平成29年4月1日	平成29年4月1日	27名

一般財団法人市別市体育協会 歴代役員名簿

(平成20年度～28年度)

役 職 名	平成20～21年度	平成22～23年度	平成24～25年度	平成26～27年度	平成28年度
名 誉 顧 問	今井 忠則	今井 忠則	今井 忠則	今井 忠則	今井 忠則
顧 問	近藤礼次郎	近藤礼次郎	近藤礼次郎	近藤礼次郎	山崎 勇
〃	横井 春雄	横井 春雄	鷺見 卓雄	山崎 勇	中村 徹雄
〃	鷺見 卓雄	鷺見 卓雄	山崎 勇	中村 徹雄	岡田 晃
〃	山崎 勇	山崎 勇	中村 徹雄	岡田 晃	
〃	中村 徹雄	中村 徹雄	岡田 晃		
〃		岡田 晃			
参 与	金野 徳蔵	金野 徳蔵	金野 徳蔵	金野 徳蔵	金野 徳蔵
〃	千葉 富司	千葉 富司	倉橋 千寿	倉橋 千寿	倉橋 千寿
〃	玉田 次夫	倉橋 千寿			
〃	倉橋 千寿				
会 長	岡田 晃	神田 英一	神田 英一	神田 英一	神田 英一
副 会 長	佐藤 元信	佐藤 元信	佐藤 元信	佐藤 元信	佐藤 元信
〃	大森 智	大森 智	大森 智	大森 智	大森 智
〃	神田 英一	佐々木文男	佐々木文男	佐々木文男	佐々木文男
理 事	上野 暉	上野 暉	上野 暉	生方 輝喜	生方 輝喜
〃	西條正史郎	鷺見 謙一	鷺見 謙一	吉倉 司	吉倉 司
〃	鷺見 謙一	土岐 浩二	生方 輝喜	太田 雄三	太田 雄三
〃	宍戸 窈子	生方 輝喜	吉倉 司	山前 剛	山前 剛
〃	森 政勝	吉倉 司	太田 雄三	佐々木博文	佐々木博文
〃	土岐 浩二	太田 雄三	氏家 洋一	小野田 勝	小野田 勝
〃	生方 輝喜	氏家 洋一	鈴木 繁幸	佐々木幹夫	佐々木幹夫
〃	吉倉 司	鈴木 繁幸	山本 寛文	菅原 勝司	菅原 勝司
〃	太田 雄三	森 政勝	喜多 伸光		
監 事	佐々木文男	梅田 誠	梅田 誠	梅田 誠	梅田 誠
〃	梅田 誠	石川 和則	石川 和則	斉藤 英樹	斉藤 英樹

一般財団法人士別市体育協会役員名簿

(平成29年度)

役 職 名	氏 名	所 属
名 誉 顧 問	今 井 忠 則	士 別 卓 球 協 会
顧 問	中 村 徹 雄	士 別 レ ス リ ン グ 協 会
	山 崎 勇	多 寄 体 育 協 会
	岡 田 晃	士別ウエイトリフティング協会
参 与	金 野 徳 蔵	士 別 陸 上 競 技 協 会
	倉 橋 千 寿	士 別 レ ス リ ン グ 協 会

会 長	神 田 英 一	士 別 バ レ ー ボ ー ル 協 会
副 会 長	佐 藤 元 信	士 別 テ ニ ス 協 会
	大 森 智	士 別 ソ フ ト テ ニ ス 連 盟
	佐々木 文 男	多 寄 体 育 協 会
理 事	生 方 輝 喜	士 別 剣 道 連 盟
	山 前 剛	士 別 空 手 道 連 盟
	太 田 雄 三	士 別 ス キ ー 協 会
	佐々木 博 文	士 別 バ ド ミ ン ト ン 協 会
	小野田 勝	士 別 ソ フ ト ボ ー ル 協 会
	佐々木 幹 夫	士 別 レ ス リ ン グ 協 会
	菅 原 勝 司	士 別 ト ラ ン ポ リ ン 協 会
	吉 倉 司	サフオー克蘭ド士別サッカークラブ

監 事	梅 田 誠	士 別 弓 道 会
	渡 辺 亨	上 士 別 体 育 協 会

士別スポーツ少年団本部役員名簿

(平成29年度)

役 職 名	氏 名	所 属
本 部 長	氏 家 洋 一	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
副 本 部 長	堀 隼 人	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 員
副 本 部 長	石 川 敏	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
副 本 部 長	吉 倉 司	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
本 部 員	加 納 修	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
本 部 員	大 留 義 幸	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
本 部 員	氏 家 克 仁	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
本 部 員	高 山 道 恵	日 本 ス ポ ー ツ 少 年 団 認 定 育 成 員
本 部 員	小 林 一 範	基 礎 体 力 委 員 会 委 員 長

士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会役員名簿

(平成29年度)

役 職 名	氏 名	所 属
顧 問	今 井 忠 則	士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会前会長
会 長	佐々木 文 男	多 寄 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 会 長
副 会 長	堀 隼 人	士 別 中 央 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 会 長
副 会 長	渡 辺 亨	上 士 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 会 長
副 会 長	渕 澤 博 孝	温 根 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 会 長
理 事 長	大 崎 陽 司	士 別 中 央 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 副 会 長
委 員	吉 倉 司	士 別 中 央 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 理 事 長
委 員	西 條 昌 子	士 別 中 央 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 運 営 委 員
委 員	笹 村 等	多 寄 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 運 営 委 員
委 員	石 川 和 則	多 寄 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 事 務 局 長
委 員	川 岸 純 一	上 士 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 副 会 長
委 員	山 田 有 弘	上 士 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 事 務 局 長
委 員	泉 田 良 仁	温 根 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 事 務 局 長
委 員	加 納 修	士 別 市 教 育 委 員 会 合 宿 の 里 推 進 室 長
監 事	植 西 信 雄	温 根 別 ス ポ ー ツ ク ラ ブ 副 会 長
監 事	石 川 敏	士 別 ス ポ ー ツ 少 年 団 本 部 副 本 部 長
事 務 局	丸 孝 則	士 別 市 体 育 協 会

【編 集 後 記】

士別市体育協会創立60周年・財団設立30周年の節目にあたり、記念誌「進化」を発行することができました。

編集内容については、既発行の創立20周年（力と和）・創立30周年（飛躍）・創立40周年（道程）・創立50周年（50年のあゆみ）の記念誌を引き継ぐものとして、最近10年間（平成20年以降）における事業並びに現在士別市から管理業務を受けている社会体育施設の写真等を中心に掲載いたしました。

全体の仕上がりは、調査や資料収集が十分でない部分も多く反省しているところですが、この記念誌が当体育協会の新たな飛躍に向けより進化することを願っております。

記念誌発行にあたり、ご多忙のところご祝辞をいただきました皆様をはじめ関係各位に厚くお礼を申し上げ、編集後記といたします。

（記念誌部会一同）



「 進 化 」

士別市体育協会創立60周年・財団法人設立30周年 記念誌

発 行 一般財団法人士別市体育協会

発 行 日 平成30年3月

編 集 体育協会創立60周年・財団法人設立30周年
記念事業実行委員会 記念誌部会

印 刷 田中印刷株式会社